

事務事業評価調書

事務事業名	通所介護事業(老人デイサービス事業)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成8年度	改正 内容	岸部中デイサービスセンターを平成27年9月末日に廃止の改正											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立老人デイサービスセンター条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	デイサービスセンター(5カ所)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護保険法に基づく通所介護事業所としての活用を図る												
(7) 事業概要	指定管理者制度(利用料金制)を導入しているため、施設の管理運営は指定管理者による独立採算のもと行われますが、施設の大規模な修繕と工事は市が実施するものです。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	5	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,954	4,357	4,937	5,286	5,302							
	人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60							
		総額(B)	千円	4,980	4,769	5,012	5,012							
	総事業費(A+B)		10,934	9,126	9,949	10,298	10,204							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	17							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	17								
	市負担(D)		10,934	9,125	9,949	10,281	10,189							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
その他		0	0	0	0									
一般財源		10,934	9,125	9,949	10,281	10,189								
財源計(C+D)		10,934	9,125	9,949	10,298	10,204								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	社会福祉法人寿楽福祉会他										
			②											
			③											
	主な委託内容		指定管理者制度及び集会所の管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 利用者数(1日)	目標値	(単位:人)	156.00	156.00	146.00	
			実績値	(単位:人)	93.78	106.30		
			達成度(%)		60.1	68.1		
	目標値の積算方法	利用定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		97.31	96.88	
				一般財源(単位:千円)		97.31	96.72	
	②	指標内容	大規模修繕箇所数	目標値	(単位:箇所)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:箇所)	4.00	5.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		修繕コスト	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,281.50	2,059.60	
	一般財源(単位:千円)				2,281.50	2,056.20		
(2) 成果指標	①	指標内容 延利用者数	目標値	(単位:人)	50,749.00	50,570.00	49,350.00	
			実績値	(単位:人)	31,879.00	36,098.00		
			達成度(%)		62.8	71.4		
	目標値の積算方法	全6施設の開所日数×利用定員数 (平成28年度5施設)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.29	0.29	
				一般財源(単位:千円)		0.29	0.28	
	②	指標内容	全6施設の年間開所日数 (平成28年度5施設)	目標値	(単位:日)	1,842.00	1,783.00	1,661.00
実績値				(単位:日)	1,842.00	1,783.00		
達成度(%)				100.0	100.0			
目標値の積算方法		全6施設が定めている年間開所日数 (平成28年度5施設)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4.95	5.78	
	一般財源(単位:千円)				4.95	5.77		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		通所介護事業所として指定管理者による安定的な運営を維持していく上で、施設、設備の老朽化等に対応し、計画的な修繕、備品整備を行うことが必要なため、継続とします。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	通所介護事業(デイサービス事業)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00367				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12			
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00367
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

効率性の③が1点となっておりますが、本事業は指定管理で委託している事業であり、委託事業者は他機関と連携をとりながら、事業を行っており、本事業としては他との連携は行っていません。
 持続可能性の①②が1点となっておりますが、実施施設の老朽化等が進み、施設の維持管理のためには修繕、備品整備を行う必要があり、年々修繕工事が必要な箇所が増えております。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>指定管理者制度を導入しているため、介護報酬その他の利用料金等は指定管理者の収入とし独立採算方式で運営しているが、施設の大規模な修繕と工事は市が実施するため、建築年数とともに費用は増大します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

6施設のうち、岸部中デイサービスセンターについては、利用者数減数、地域内民間サービスによる通所介護事業所の充足状況を踏まえ、廃止しました。

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者支援事業者との連携による見守り事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正 内容	庶務担当室名を変更											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市高齢者見守り体制づくり実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	13							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者 高齢者のみで構成される世帯等											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるための支援体制の確立												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	ひとり暮らし高齢者等の安心・安全な暮らしが確保されます。												
(7) 事業概要	高齢者の見守り体制の充実に向けて、高齢者支援事業者との連携による見守りのためのネットワークを構築します。そのため、協力事業者の募集・登録に関する事務を進めるとともに、効果的かつ確実な見守り活動を実施するため、地域包括支援センターとの連携を図ります。また、市民や協力事業者を対象に研修・講演会等を開催し、地域で高齢者が安心して暮らし続ける地域づくりを目指します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	8	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		66	56	213	184	168							
	人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
		総額(B)	千円	1,245	1,193	1,253	1,253	1,226						
	総事業費(A+B)		1,311	1,249	1,466	1,437	1,394							
	特定財源(C)		66	56	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	66	56	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		1,245	1,192	1,466	1,437	1,394							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		1,245	1,192	1,466	1,437	1,394								
財源計(C+D)		1,311	1,248	1,466	1,437	1,394								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	高齢者支援事業者の延団体数	目標値	(単位:団体)	30.00	0.00	/
			実績値	(単位:団体)	33.00	0.00		
		達成度(%)		110.0	0.0			
	目標値の積算方法	第5期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標値。平成27年度からは活動指標を延事業者数のみとする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	37.85	0.00		
				一般財源(単位:千円)	36.15	0.00		
	②	指標内容	高齢者支援事業者の延事業者数	目標値	(単位:事業者)	350.00	400.00	
実績値			(単位:事業者)	376.00	475.00			
達成度(%)		107.4	118.8					
目標値の積算方法		第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標値。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.32	3.03		
				一般財源(単位:千円)	3.17	3.03		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための見守り体制の確立。			達成状況	ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための見守り体制が強化されました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		高齢者人口が増加し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等の増加が見込まれる中、民間事業者とも連携し、新たな支援体制を確立していくことが不可欠です。高齢者支援事業者を増やし、地域全体で見守る体制をつくることで、ひとり暮らし高齢者等の安心・安全を確保することができると考えています。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者支援事業者との連携による見守り事業	事業区分	その他
事務事業番号	00368				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00368
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ひとり暮らし高齢者等を地域全体で支援するため、これまで地域の見守り活動を行っていただいている方々に加え、高齢者と関わりのある地域の事業者の方々にご協力いただくことにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための見守り体制が強化されました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者いきいの間事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正 内容	吹二地区高齢者いきいの間の所在地の変更											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田市高齢者いきいの間設置運営要項													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	高齢者いきいの間												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、親睦及びレクリエーション等のために高齢者いきいの間を設置します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者の心身の健康の増進を図ります。													
(7)	事業概要	<p>施設の利用者は、当該施設の設置地区に居住するおおむね60歳以上の高齢者とし、利用期間は、1月4日から12月28日の午前10時から午後5時までとしています。ただし、事業内容により、午後10時まで延長することができます。施設の管理は、地元高齢クラブ連合等に無償で依頼しています。施設の管理者である高齢クラブ連合会長等は、毎月利用状況を翌月の15日までに報告します。利用料は無料です。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		8,407	7,930	5,726	4,863	5,126							
		人件費	職員数	人	0.80	0.80	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	6,640	6,358	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		15,047	14,288	14,078	13,215	13,296							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		15,047	14,288	14,078	13,215	13,296							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	15,047		14,288	14,078	13,215	13,296									
財源計(C+D)		15,047	14,288	14,078	13,215	13,296									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 いこいの間の利用人数	目標値	(単位:人)	90,228.00	89,934.00	87,481.00
			実績値	(単位:人)	89,934.00	87,481.00	
		達成度(%)		99.7	97.3		
	目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.16	0.15	
				一般財源(単位:千円)	0.16	0.15	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	地域の高齢者に活動の場を提供することによって、親睦を深め、レクリエーション等を行い、高齢者の生きがいがづくり、健康の増進に寄与しています。			達成状況	地域の高齢者の活動の場を提供すること、及び高齢者の生きがいがづくり、健康の増進が図れました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		高齢者いこいの間は、地域における高齢者の教養の向上、生きがいがづくり、親睦、レクリエーション及びコミュニケーションの場として、高齢クラブの活動拠点として、高齢者が生きがいを持ち、いきいきと健康に暮らしていくために必要な施設で、成果を上げています。 高齢社会の進展に伴い、今後ますます地域に密着した施設として、必要性があることから、本事業は継続とします。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者いこいの間事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00370				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00370
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

地元高齢者の活動拠点となっています。高齢者いこいの間に行けば、地元の仲間と会って語り等ができる集いの場があることで、安心して集うことができます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>地域高齢者の教養の向上、生きがいがづくり、親睦、レクリエーション及びコミュニケーションの場として、また、高齢クラブの活動拠点として成果を上げています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者いこいの家事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	名称変更											
(2)	直近の改正	平成14年度													
(3)	根拠法令等	高齢者いこいの家条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	おおむね60歳以上の高齢者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者の相互交流と社会参加を促進すると共に、高齢者の自立支援を図ります。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者の福祉の増進													
(7)	事業概要	高齢者に対する相談及び教養講座の実施や、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための場の提供を行っています。利用料は無料です。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		12,580	11,698	12,718	11,568	12,817							
		人件費	職員数	人	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10						
			総額(B)	千円	9,130	8,742	9,188	9,188	8,987						
		総事業費(A+B)		21,710	20,440	21,906	20,756	21,804							
		特定財源(C)		570	570	572	547	580							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	570	570	572	547	580							
		市負担(D)		21,140	19,870	21,334	20,209	21,224							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	21,140		19,870	21,334	20,209	21,224									
財源計(C+D)		21,710	20,440	21,906	20,756	21,804									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	北大阪興業(株)他5社										
				②											
				③											
		主な委託内容		警備、清掃、消防設備点検等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 各種講座参加人数	目標値	(単位:人)	1,214.00	1,244.00	1,207.00
			実績値	(単位:人)	1,244.00	1,207.00	/
		達成度(%)		102.5	97.0		
	目標値の積算方法 実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	16.43	17.20		
			一般財源(単位:千円)	15.97	16.74		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 高齢者いこいの家利用人数	目標値	(単位:人)	8,338.00	8,252.00
	実績値			(単位:人)	8,252.00	8,294.00	/
	達成度(%)		99.0	100.5			
	目標値の積算方法 実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.48	2.50		
			一般財源(単位:千円)	2.41	2.44		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		職員体制のうち常勤職員を1名として人件費を節約しています。 高齢者の相互交流と社会参加の促進を図るとともに、健康の増進のために必要な成果をあげています。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者いこいの家事業	事業区分	その他
事務事業番号	00371				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

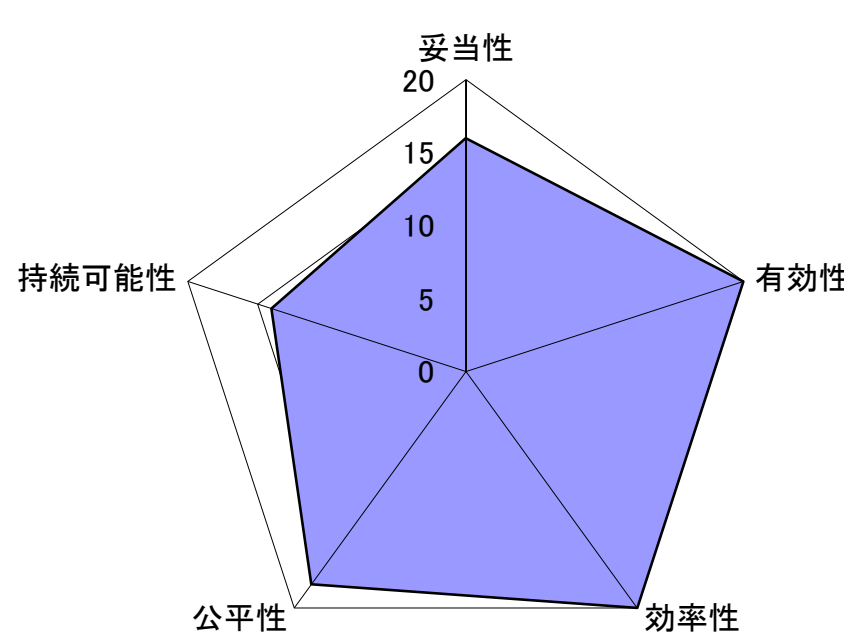
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00371
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、生きがいつくり・健康づくりの推進に必要な施設としています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者の相互交流と社会参加の促進を図るとともに、健康の増進のため必要な成果をあげています。指定管理者制度の導入に向けて検討を行います。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢クラブ活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和51年度	改正内容	(市)吹田市高齢クラブ活動補助金交付要綱における単位高齢クラブの会員要件50人以上からを30人以上に緩和											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	(国)老人福祉法、(国)在宅福祉事業費補助金交付要綱、(府)在宅高齢者福祉対策補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		吹田市高齢クラブ連合会社会奉仕活動のみ市単独事業											
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市高齢クラブ連合会、単位高齢クラブ											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢クラブ活動を助成することにより、会員の教養の向上及び健康の増進を図ります。												
(7) 事業概要	<p><吹田市高齢クラブ連合会> 市内全域を対象とし、市内のほとんどの高齢クラブが加入している高齢クラブ連合会に対し、申請に基づき活動補助金を交付します。</p> <p><単位高齢クラブ> 同一地域内に居住する高齢者で組織され、30人以上の会員が加入する高齢クラブに対し、申請に基づき活動補助金を交付します。各クラブは、補助金のほか会員から集めた会費により、運営しています。</p> <p><吹田市高齢クラブ連合会社会奉仕活動> 9月20日を中心に市内全域で実施する吹田市高齢クラブ連合会の環境美化等の社会奉仕活動に対し、補助金を交付します。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		15,428	14,960	15,352	14,353	14,631							
	人件費	職員数	人	0.65	0.65	0.65	0.65							
		総額(B)	千円	5,395	5,166	5,429	5,311							
	総事業費(A+B)		20,823	20,126	20,781	19,782	19,942							
	特定財源(C)		7,993	7,761	7,967	7,459	7,641							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	7,993	7,761	7,967	7,459	7,641							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		12,830	12,365	12,814	12,323	12,301							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		12,830	12,365	12,814	12,323	12,301								
財源計(C+D)		20,823	20,126	20,781	19,782	19,942								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市高齢クラブ連合会、単位高齢クラブ											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 高齢クラブ会員数	目標値	(単位:人)	15,010.00	14,774.00	14,046.00
			実績値	(単位:人)	14,774.00	14,046.00	
		達成度(%)		98.4	95.1		
	目標値の積算方法	会員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.36	1.41
				一般財源(単位:千円)		0.84	0.88
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(3) が困難な場合		①	指標内容 60歳以上に占める会員の比率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	14.50	13.60	
	達成度(%)		29.0	27.2			
	目標値の積算方法	会員数÷60歳以上の住民登録者数×100	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,388.07	1,454.56
				一般財源(単位:千円)		852.83	906.10
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	<p>高齢クラブ活動補助金は、市費だけではなく、国及び府からの補助も受ける中で、高齢クラブ活動に対して有効に活用されて、高齢者福祉の増進が図られています。高齢クラブは、社会奉仕活動、文化教養活動、及び健康増進活動等を通じ、地域の高齢者の活動団体として有効に機能しています。</p> <p>今後、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年を見据えて、ひとり暮らしの高齢者や老老世帯が増える超高齢社会の中で、地域のコミュニティとして、地域の見守り隊として、外出支援の担い手として、介護予防を率先して推進する活動隊として、高齢クラブの役割はますます重要性を増していくものと考えています。</p>					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢クラブ活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00372				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00372
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

高齢クラブは、地域の担い手として重要な役割を果たしています。高齢クラブが活性化することで、本市が進める地域包括ケアの一翼を担えるものと考えています。民間の有料のサービスとは異なり、ボランティアで鍵を預かったり、ごみを出したり、お使いをしたりするなどの高齢者の生活支援サービスの提供者につながっていきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度の高齢クラブ会員数は14,046人で、高齢者の活動の場として有効に機能しています。しかし、会員を集めることが困難なクラブや、会員の高齢化により、活発な活動の継続が困難なクラブもあり、加入率の維持・向上が課題となっています。</p> <p>大阪府において、平成23年度から高齢クラブへの補助金は、「規模に応じた補助」から「事業費補助」へと変更され、会員数の要件が50人以上から30人以上へと緩和されています。</p> <p>本市においても事業費補助を実施しており、平成28年度からは、会員要件を50人以上から30人以上へと緩和して、高齢クラブ数の減少に歯止めをかける拡充策を実施しました。この拡充策により、地域での活動の維持・活性化を図り、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを支援しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

老人福祉法において、第4条で「国及び地方公共団体は、老人の福祉を増進する責務を有する」として老人福祉増進の責務を、第10条の3で「市町村は、一中略一老人クラブその他老人の福祉を増進することを目的とする事業を行う者一中略一等地域の実情に応じた体制の整備に努めなければならない」として支援体制の整備を、規定しています。

国は、『老人クラブ活動等事業の実施については、一中略一「介護予防・生活支援事業の実施について」により実施してきたところであるが、活力ある高齢社会を構築していくためには、高齢者が主体となって活躍していくことが今後ますます求められるところであるとして、介護予防・生活支援事業のうち老人クラブの活動については、より一層の活性化を図ることとし、一中略一については、本事業の積極的な実施に努められるよう特段の配慮をお願いするとともに、貴管内市町村に対して、周知徹底を図るなど、事業の円滑な実施について御協力を賜りたい』としています。(平成21年6月15日都道府県知事宛厚生労働省老健局長通知)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者友愛訪問事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和50年度	改正 内容	対象者の見直し											
(2)	直近の改正	平成20年度													
(3)	根拠法令等	なし(毎年度起案処理)													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	75歳以上の一人暮らし高齢者・寝たきり高齢者世帯、65歳から74歳までの寝たきりや一人暮らしで声かけや見守りが必要な者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者の孤独感を解消し、地域社会との交流を深め、老後の生きがいを高めます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者の福祉の促進													
(7)	事業概要	<p>高齢クラブが、寝たきり高齢者及びひとり暮らしの高齢者を訪問することにより、高齢者の孤独感を解消し、地域社会との交流を深めます。日常生活の状況把握などを行い、老後の生きがいを高めるための適切な助言や連絡をします。訪問対象者の利用料等の負担はありません。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	4	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5,812	5,812	5,812	5,812	5,812							
		人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
			総額(B)	千円	1,245	1,193	1,253	1,253	1,226						
		総事業費(A+B)		7,057	7,005	7,065	7,065	7,038							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		7,057	7,005	7,065	7,065	7,038							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			7,057	7,005	7,065	7,065	7,038								
財源計(C+D)		7,057	7,005	7,065	7,065	7,038									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市高齢クラブ連合会										
				②											
				③											
		主な委託内容		寝たきり及びひとり暮らし高齢者の訪問激励											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	訪問実施クラブ数	目標値	(単位:クラブ)	221.00	218.00	211.00
			実績値	(単位:クラブ)	218.00	211.00	/	
		達成度(%)		98.6	96.8			
	目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	32.13	33.48		
				一般財源(単位:千円)	32.13	33.48		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	訪問者数	目標値	(単位:件)	3,941.00	4,091.00
	実績値			(単位:件)	4,091.00	4,111.00	/	
	達成度(%)		103.8	100.5				
	目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.71	1.72		
				一般財源(単位:千円)	1.71	1.72		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標		
	成果内容				達成状況			
今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定							
	評価の説明	<p>高齢クラブは、社会奉仕・地域見守り活動として、同事業を行っています。この事業を通じて、高齢者同士で励まし合い、積極的に仲間と交流して、健康で心の温まる生活を営むことができるようになり、効果を上げています。さらに、何かあったときなど緊急時には、すぐに駆けつけることができる顔の見えるつながりも確保されます。高齢者が住み慣れた地域で、安心・安全に永く暮らし続けられるように、孤立防止の取組を推進し、地域で見守り、支える重層的なネットワークのひとつとして、重要な事業です。</p> <p>年に1回は訪問時に手作り品を作成し持参することで、訪問する高齢者自身の生きがいを高めることにもつながっています。</p>						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者友愛訪問事業	事業区分	その他
事務事業番号	00373				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00373
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、地域の地縁組織である高齢クラブに委託して実施しています。本市では、地域の見守り・声かけ活動は、ほかに民生委員、地区福祉委員会、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー等の活動、新聞配達・郵便配達・牛乳配達等高齢支援事業者との連携によるものなど、複層的な見守りの網掛けで実施しています。その見守りネットワークの中にあつて、被訪問者には、高齢クラブによる訪問が身近かで信頼ができる心強い活動となっています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢クラブは社会奉仕・地域見守り活動として、同事業を行っており、この事業を通じて高齢者同士で励まし合い、積極的に仲間と交流し、健康で心の温まる生活を営むことができるようになり、効果を上げています。さらに、何かあったときなど緊急時には、すぐに駆けつけることができる顔の見えるつながりも確保されています。</p> <p>また、年に1回は訪問時に手作り品を作成し持参することで、訪問する高齢者自身の生きがいを高めることにもつながっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	在日外国人高齢者給付金支給事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成7年度	改正内容	外国人登録法の廃止に伴い、支給対象者の要件について規定整備を行うため、要綱を一部改正											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市在日外国人高齢者給付金支給要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	国籍による制限のため国民年金の支給を受けることができない在日外国人である高齢者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	給付金を支給します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	在日外国人である高齢者の福祉の増進を図ります。													
(7)	事業概要	国籍による制限のため国民年金の支給を受けることができない在日外国人である高齢者に対し、在日外国人高齢者給付金(1人月額1万円)を支給します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	5	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,080	970	1,080	1,000	1,200							
		人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
			総額(B)	千円	1,245	1,193	1,253	1,253	1,226						
		総事業費(A+B)		2,325	2,163	2,333	2,253	2,426							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		2,325	2,162	2,333	2,253	2,426							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			2,325	2,162	2,333	2,253	2,426								
財源計(C+D)		2,325	2,162	2,333	2,253	2,426									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 受給者数	目標値	(単位:人)	9.00	9.00	/
			実績値	(単位:人)	10.00	9.00	
			達成度(%)		111.1	100.0	
	目標値の積算方法	支給対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	216.30	250.33	
				一般財源(単位:千円)	216.30	250.33	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	給付対象者にすべて給付することができました。			達成状況	在日外国人である高齢者の福祉の増進を図ることができました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		事業の目的及び対象者(給付金受給者)の置かれている状況等を勘案し、現行どおり継続とします。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	在日外国人高齢者給付金支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	00374				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

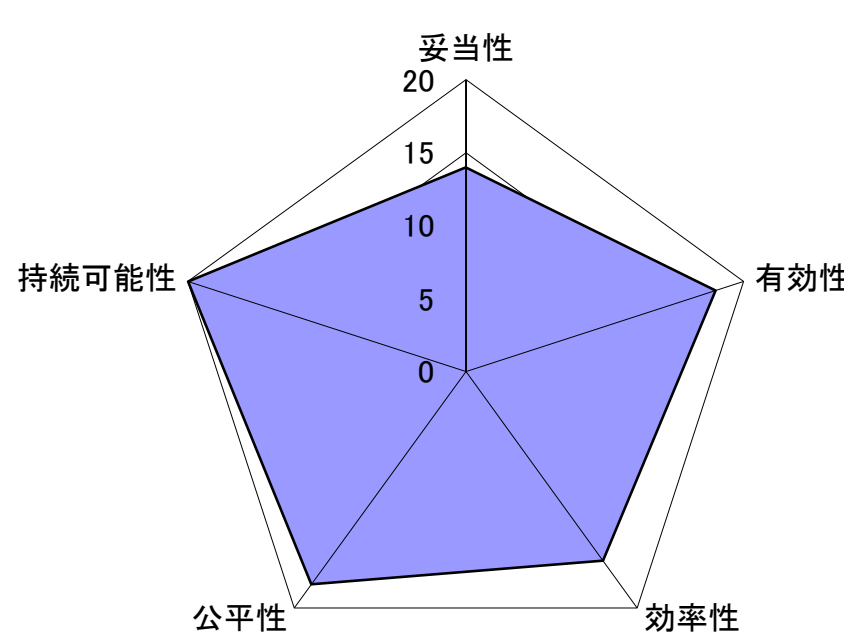
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00374
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

対象者は他市からの転入等により増加する場合があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>対象者(給付金受給者)は減少していますが、事業の目的は適切なものであり、目的と対象者の一致は適正です。事業の実施意義は高く、今後も現行どおり実施する必要があると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	シルバー人材センター補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	要領の名称変更											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	(公社)吹田市シルバー人材センター補助金交付要領、吹田市高齢者地域安心いきいき事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	おおむね60歳以上の高齢者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高年齢者の就業機会の提供 就業機会の提供を通じて高年齢者福祉の増進を図ります。												
(7) 事業概要	(公社)吹田市シルバー人材センターに対する運営費・高齢者地域安心いきいき事業経費の補助													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	6	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22,128	22,128	22,128	22,128	20,128							
	人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
		総額(B)	千円	1,245	1,193	1,253	1,253	1,226						
	総事業費(A+B)		23,373	23,321	23,381	23,381	21,354							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		23,373	23,320	23,381	23,381	21,354						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		23,373	23,320	23,381	23,381	21,354								
財源計(C+D)		23,373	23,320	23,381	23,381	21,354								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	(公社)吹田市シルバー人材センター											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 会員数	目標値	(単位:人)	1,760.00	1,812.00	1,784.00	
			実績値	(単位:人)	1,812.00	1,784.00		
			達成度(%)		103.0	98.5		
	目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12.87	13.11	
				一般財源(単位:千円)		12.87	13.11	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 年間就業延人員	目標値	(単位:人)	195,685.00	195,842.00	200,860.00	
			実績値	(単位:人)	195,842.00	200,860.00		
			達成度(%)		100.1	102.6		
	目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.12	0.12	
				一般財源(単位:千円)		0.12	0.12	
	②	指標内容	契約件数	目標値	(単位:件)	4,077.00	4,015.00	3,707.00
			実績値	(単位:件)	4,015.00	3,707.00		
		達成度(%)		98.5	92.3			
目標値の積算方法		実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.81	6.31	
				一般財源(単位:千円)		5.81	6.31	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		高齢化が進む中、長年培ってきた技術や経験をいかし、社会に貢献したいと考える高齢者は増加すると思われませんが、臨時的かつ短期的で軽易な仕事を引き受けているシルバー人材センターへの受注件数は減少傾向にあり、同センターの運営状況は厳しいものとなっています。今後も、国の補助と併せ、市からの補助は必要であると考えています。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	シルバー人材センター補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00375				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00375
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

シルバー人材センターは、定年退職後等の高齢者に対して、雇用関係ではない就業を会員(原則60歳以上)に提供するとともに、ボランティア活動をはじめとする多様な社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上・活性化に寄与しています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>シルバー人材センターは、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に規定されており、国からも別途補助を受けています。 会員は、長年培った技術や経験を生かしながら仕事を通して社会に貢献しており、また、会員同士で書道や七宝焼き、パソコン同好会などの活動も行っており、高齢者の生きがいづくりにも寄与しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年4月から改正介護保険法が施行され、要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応するため、新たな介護予防・生活支援サービス事業において、掃除・洗濯のサービスや、買物代行・通院付添い・料理・ごみ出し・かぎの預かりなどの新しいサービスが実施されます。この事業を安心して任せられる事業者として、住民ニーズに応えられると考えています。

事務事業評価調書

事務事業名	シルバーワークプラザ管理事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成7年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	高齢者等の雇用の安定等に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	シルバーワークプラザの維持管理											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	維持管理 長期保全												
(7) 事業概要	シルバーワークプラザの維持管理													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	7	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,675	5,613	5,507	4,948	5,111							
	人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
		総額(B)	千円	1,245	1,193	1,253	1,253	1,226						
	総事業費(A+B)		6,920	6,806	6,760	6,201	6,337							
	特定財源(C)		914	894	914	825	935							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	914	894	914	825	935							
	市負担(D)		6,006	5,911	5,846	5,376	5,402							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		6,006	5,911	5,846	5,376	5,402								
財源計(C+D)		6,920	6,805	6,760	6,201	6,337								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 松本設備サービス(株)											
			② (株)双葉化学商会											
			主な委託内容	③ 寺岡オート・ドアシステム(株) 他6社										
				清掃、警備、自動ドア保守点検など維持管理										
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	維持管理委託料	目標値	(単位:円)	2,770,860.00	2,902,905.00	2,791,752.00
			実績値	(単位:円)	2,902,905.00	2,791,752.00		
		達成度(%)				104.8	96.2	
	目標値の積算方法	実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:円)	0.00	0.00
実績値				(単位:円)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	修繕料	目標値	(単位:円)	721,000.00	433,000.00
	実績値			(単位:円)	721,000.00	252,288.00		
	達成度(%)				100.0	58.3		
	目標値の積算方法	予算額	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.01	0.02	
				一般財源(単位:千円)		0.01	0.02	
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		今後も建物の維持管理は必要である。						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	シルバーワークプラザ管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00376				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00376
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性について、建築後20年が経過しており、大規模改修等により今後の事業費が増大する見込みがあります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>吹田市シルバーワークプラザは、平成7年(1995年)4月に、高齢者の生きがい、社会参加としての就業及びその機会の拡大や能力開発を図ることを目的として、事務所、作業所、会議室等を有する施設として建設されました。現在、シルバー人材センターの事務所のほか、シルバー会員の作業場、いきがい教室の開催場所として有効に活用しています。 建築後20年が経過し、修繕費用が毎年増加しており、屋上防水や外壁塗装等の大規模改修が必要です。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	いきがい教室開催事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和54年度	改正内容	開講科目の一部変更											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	吹田市いきがい教室実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	60歳以上の高齢者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	初歩的な趣味教室への参加を通じて、仲間づくりと教養の向上を図ります。												
(7) 事業概要	19科目の教室を開講し、参加者を公募、年度末には発表会を開催し、1年間の成果を披露しています。教室、発表会を併せ、運営は吹田市高齢クラブ連合会に委託しています。受講料は無料で、教材費やテキスト代等は自己負担です。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	8	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,856	3,856	3,856	3,856	3,856							
	人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	1,245	1,193	1,253	2,506	2,451						
	総事業費(A+B)		5,101	5,049	5,109	6,362	6,307							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		5,101	5,048	5,109	6,362	6,307						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		5,101	5,048	5,109	6,362	6,307								
財源計(C+D)		5,101	5,048	5,109	6,362	6,307								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市高齢クラブ連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		いきがい教室及び発表会の管理運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 参加申込者数	目標値	(単位:人)	566.00	568.00	568.00	
			実績値	(単位:人)	742.00	658.00		
			達成度(%)		131.1	115.8		
	目標値の積算方法	定員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.80	9.67	
				一般財源(単位:千円)		6.80	9.67	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 延べ受講者数	目標値	(単位:人)	7,550.00	7,579.00	7,435.00	
			実績値	(単位:人)	6,782.00	6,681.00		
			達成度(%)		89.8	88.2		
	目標値の積算方法	各教室の受講者見込数×開講日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.74	0.95	
				一般財源(単位:千円)		0.74	0.95	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		高齢者の生きがいの提供及び社会参加の推進に効果があることから継続とします。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	いきがい教室開催事業	事業区分	その他
事務事業番号	00377				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00377
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、個人の教養増加の満足にとどまらず、友人や地域住民へ習得知識の還元を行い、そのことによって、交流の輪を広げ、結果として本人の生きがいにつながることを目指して取り組んでいます。
 ただし、時代の変化により求められる教室なども変化していくものと考えており、受講者のニーズに沿った教室の見直しなどを行っているところです。公平性について、参加者の公募の際は、同じ科目の受講回数が3回を超えた場合は受講対象から除外するなど、多くの高齢者が受講できるようにしています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>定期的に科目や定員数の見直し及び更新を行うことで、市民ニーズに適切に対応し、高齢者の生きがいの提供及び社会参加の推進に大きな効果をあげており、受講者アンケートからも概ね高い評価を得ています。また、事業費についても見直しを行い、常に費用対効果について検討を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者団体用福祉バス貸付事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正 内容	対象団体の名称変更											
(2)	直近の改正	平成15年度													
(3)	根拠法令等	吹田市高齢者団体用福祉バス貸付事業実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市高齢クラブ連合会、単位高齢クラブ、その他市長が適当と認める団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	バスを貸し付けることにより高齢者等の積極的な社会参加を促進します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者等の福祉の増進													
(7)	事業概要	吹田市高齢クラブ連合会、単位高齢クラブ等の高齢者団体に対し、大型バスを平日の9時～17時の間で貸し出します。利用料は無料(ただし、有料道路通行料金、駐車場料金は団体の負担)です。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	9	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		8,554	8,554	14,405	11,691	14,405							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,506	2,451						
		総事業費(A+B)		11,044	10,939	16,911	14,197	16,856							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		11,044	10,938	16,911	14,197	16,856							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	11,044		10,938	16,911	14,197	16,856									
財源計(C+D)		11,044	10,938	16,911	14,197	16,856									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)国際興業大阪										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	運行台数	目標値	(単位:台)	110.00	110.00	110.00
			実績値	(単位:台)	110.00	110.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	契約台数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	99.45	129.06		
				一般財源(単位:千円)	99.45	129.06		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	契約台数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	利用者数	目標値	(単位:人)	5,390.00	5,390.00	5,390.00
			実績値	(単位:人)	5,131.00	5,155.00	/	
		達成度(%)		95.2	95.6			
	目標値の積算方法	契約台数×49人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.13	2.75		
				一般財源(単位:千円)	2.13	2.75		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	契約台数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		社会参加の機会が減少傾向にある高齢者に手軽に参加できる手段を提供することは、高齢者の生きがいを高め、社会参加の推進に効果があることから、継続とします。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者団体用福祉バス貸付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00378				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00378
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

貸切バスの運賃制度見直しにより、平成27年度の事業費が増加していますが、平成23年度の事業見直しにおいて貸付台数を190台から110台に縮小しており、市民ニーズが高い事業であるため、平成28年度においても110台の貸付台数を確保しています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>心身の機能が低下しがちな高齢者は社会参加の機会が減少傾向にあり、家に閉じこもってしまう問題が生じています。外出する機会や情報が少ない中で、高齢者同士が気軽に参加し、外出できる機会や手段を提供することは、高齢者の生きがい及び、社会参加の推進に効果があります。また、閉じこもりの防止にも寄与しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年4月から、国土交通省の貸切バスの安全性向上を図る取組の一環として、貸切バスの運賃制度が見直され、バス1台当たりの運賃の算出方法が「時間制運賃」と「キロ制運賃」を合算して運賃を算出するとされました。

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者スポーツ大会開催事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	実施要領(毎年度制定)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市高齢クラブ連合会会員及び60歳以上の高齢者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	室内軽スポーツの実施 高齢者の健康増進												
(7) 事業概要	吹田市高齢クラブ連合会会員及び公募による参加者が、例年10月に市民体育館を会場にして、玉入れ等の室内軽スポーツを楽しみながら、交流の輪を広げ、健康増進を図ります。参加費は無料です。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	10	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		167	167	167	167	167							
	人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
		総額(B)	千円	1,245	1,193	1,253	1,253	1,226						
	総事業費(A+B)		1,412	1,360	1,420	1,420	1,393							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,412	1,359	1,420	1,420	1,393							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,412	1,359	1,420	1,420	1,393								
財源計(C+D)		1,412	1,359	1,420	1,420	1,393								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市高齢クラブ連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		大会の開催・運営業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	大会参加者数	指標内容	目標値	(単位:人)	370.00	358.00	366.00
			実績値	(単位:人)	358.00	366.00		
			達成度(%)		96.8	102.2		
	目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.80	3.88	
				一般財源(単位:千円)		3.80	3.88	
	(2) 成果指標	②		指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①		指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②			指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
		②	成果内容	スポーツを楽しみながら、交流の輪を広げます。			達成状況	高齢者の健康増進に寄与しました。
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		評価の説明	高齢者へスポーツ活動の場の提供を行うことは、健康維持や生きがいづくりに重要であるため、継続とします。	

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者スポーツ大会開催事業	事業区分	その他
事務事業番号	00379				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

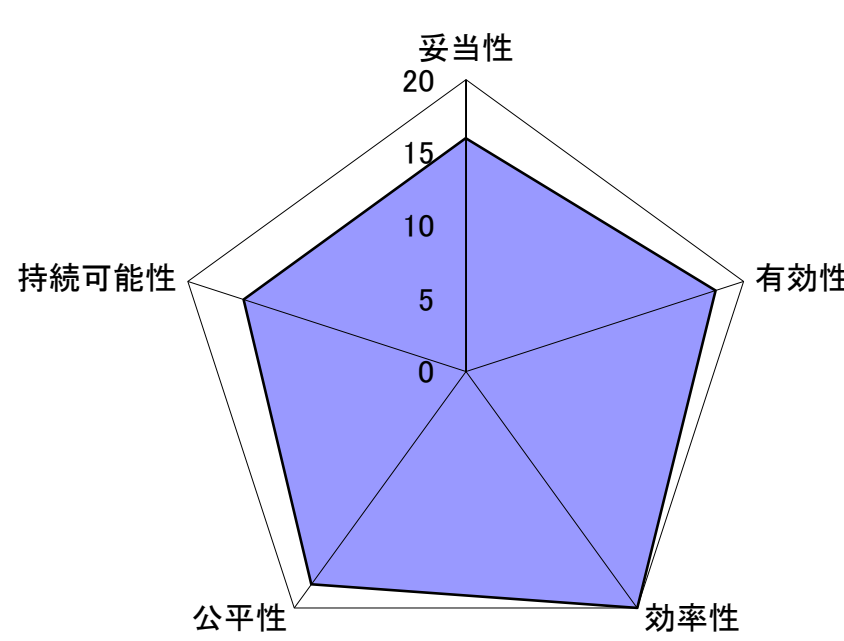
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00379
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

大会の開催・運営は、吹田市高齢クラブ連合会に委託して実施しています。平成27年度(2015年度)の開催・運営従事者は、吹田市高齢クラブ連合会40人、公募ボランティア(高齢者スポーツ認定指導者)26人となっています。高齢者自身が手作りで行う室内軽スポーツ大会となっており、参加者、開催・運営従事者とも年1回の開催を楽しみにしています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>毎年、種目等の見直しを図り、高齢者のニーズに合った、また高齢者にとって無理のない競技内容となるよう検討しています。 年に一度ですが、チームごとに競い合い、汗を流すことに生きがいを感じている高齢者は多いです。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	ふれあい交流サロン事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正 内容	帳簿等の保管期間を延長するための条文改正											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	ふれあい交流サロン事業補助金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	高齢者と世代の異なる市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	世代間交流の推進と高齢者の引きこもり対策												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者福祉の増進													
(7)	事業概要	<p>高齢者と、世代の異なる市民がいつでも気軽に利用できるサロンを設ける団体に助成します。 ふれあい交流サロンでは、各団体が、サロン利用者にコーヒー等の飲み物を100円の負担で提供する事業並びにミニ生け花教室、芋ほり及びエコクラフト等の行事に300円程度の実費負担で参加していただく等の事業を実施しています。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	4	中事業	11	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,795	2,670	2,783	2,760	2,783							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		4,455	4,260	4,454	4,431	4,417							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		4,455	4,259	4,454	4,431	4,417							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	4,455		4,259	4,454	4,431	4,417									
財源計(C+D)		4,455	4,259	4,454	4,431	4,417									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	ふれあい交流サロンたけのこ										
②	西山田ふらっとサロン														
③	陽だまりルーム ④ほっとサロンちさと														
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 開所日数	目標値	(単位:日)	866.00	843.00	803.00	
			実績値	(単位:日)	843.00	803.00		
			達成度(%)		97.3	95.3		
	①	目標値の積算方法 実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.05	5.52	
				一般財源(単位:千円)		5.05	5.52	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
②		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 利用者数	目標値	(単位:人)	23,649.00	22,675.00	21,056.00	
			実績値	(単位:人)	22,675.00	21,056.00		
			達成度(%)		95.9	92.9		
	①	目標値の積算方法 実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.19	0.21	
				一般財源(単位:千円)		0.19	0.21	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
②		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		事業開始当初から地区集会所等の市有施設を活用し事業を実施してきましたが、市有施設での実施が困難となったことから民有施設の活用を可能とするため、平成24年度にふれあい交流サロン事業補助金交付要綱の補助種別の改正を行いました。高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれる中、世代間交流や外出を増やすことは、高齢者の介護予防や社会参加及び地域の情報を得る場所としても役立ち、生きがいにも繋がる事業であるため、今後も継続します。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	ふれあい交流サロン事業	事業区分	その他
事務事業番号	00380				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00380
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(2)③について、第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、実施団体数の目標を平成28年度 5団体、平成29年度 6団体としていますが、現状は4団体に留まっており、実施団体を増やす必要があります。しかしながら、今後、市が補助すべき団体は、現状未整備のJR以南地域、千里山・佐井寺地域において、営利を目的とせず世代間交流を実施し、長期間にわたり継続可能な団体であり、実施場所の指定や公募は慎重に行う必要があると考えています。

(3)④について、各団体が実施するミニ生け花教室、芋ほり及びエコクラフト等の行事については、各団体の意向や各団体で活動可能なボランティアに依存するところが大きく、市で検討する事業手法等で改善することが困難な場合があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内4か所でふれあい交流サロンを実施しています。サロンの利用者数は、全体としては横ばいであるものの、高齢者の利用者数は増加しており、サロンは高齢者の社会参加を促進し、介護予防や地域の情報を得る場所として役立っています。</p> <p>また、高齢者が、子ども達や子育て世代の親などと交流することで、地域の活性化にも繋がっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地区敬老行事開催事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和38年度	改正内容	帳簿等の保管期間を延長するための条文改正											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	老人福祉法、吹田市地区敬老行事補助金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	75歳以上の高齢者												
		目標(どういう状態にしたいのか)	多年にわたり、社会に貢献された高齢者を敬愛し、長寿を祝います。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	高齢者福祉の増進及び地域コミュニティの強化													
(7)	事業概要	市内を最大35地区に分け、各地区敬老行事を、9月～10月に75歳以上の市民を対象に開催します。行事の企画運営は、各地区民生・児童委員協議会を中心とした各地区敬老行事運営委員会が行い、市は実績に応じて補助金を交付します。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		37,598	37,123	39,075	38,403	40,683							
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		45,898	45,070	47,427	46,755	48,853							
		特定財源(C)		70	72	70	0	70							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	70	72	70	0	70							
		市負担(D)		45,828	44,998	47,357	46,755	48,783							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	45,828		44,998	47,357	46,755	48,783									
財源計(C+D)		45,898	45,070	47,427	46,755	48,853									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	地区敬老行事運営委員会(最大35団体)										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 参加者数	目標値	(単位:人)	33,190.00	35,110.00	37,200.00
			実績値	(単位:人)	25,941.00	26,530.00	
		達成度(%)		78.2	75.6		
	目標値の積算方法 人口推計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.74	1.76		
			一般財源(単位:千円)	1.74	1.76		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 開催会場(地区)数	目標値	(単位:箇所)	25.00	25.00
	実績値			(単位:箇所)	25.00	25.00	
	達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法 実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,802.80	1,870.20		
			一般財源(単位:千円)	1,802.80	1,870.20		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		住み慣れた身近な地域で事業(地区敬老行事)を開催することによる敬老の啓発的意義は大きく、事業の目的と合致しており、また他の敬老関連事業が縮小する中で、本事業の重要性は増していることから、今後も継続とします。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地区敬老行事開催事業	事業区分	その他
事務事業番号	00381				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00381
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)については、第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の高齢者人口と高齢化率の推移によると、当該事業の対象者数は平成21年実績では28,539人であったものが、平成26年実績では36,178人(対21年比で約27%増)、平成31年推計では43,915人(対26年比で約21%増)と今後も増大していく見込みであり、今後、事業費を増加させずに事業継続を目指すのであれば、補助金の人数割額の引下げ等を検討する必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>定期的に事業内容や運営方法、補助金交付要綱等の見直しを図ることで、市民ニーズや社会情勢に見合った事業内容を適正な事業費で運営しています。住み慣れた身近な地域で事業(地区敬老行事)を開催することによる敬老の啓発的意義は大きいものであります。また、他の敬老関連事業が縮小する中で、本事業の重要性は増しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	長寿祝賀事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	平成25年度から金婚祝状贈呈事業も合わせて実施											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	老人福祉法、長寿祝賀事業実施要領、長寿祝品等贈呈事業実施要領、金婚祝状贈呈事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	100歳以上の高齢者 結婚50年を迎える夫婦												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	多年にわたり社会に貢献された高齢者を敬愛し、長寿及び結婚50年を祝います。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者福祉の推進												
(7) 事業概要	高齢者保健福祉月間において、高齢者の長寿に祝意を表するため、100歳以上の高齢者の代表者へ市長訪問を行い、記念品を贈呈します。その他の100歳以上の高齢者には市から記念品を届けます。また、結婚50年を迎える夫婦に祝意を表するために、祝状を贈呈します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	5	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		851	711	863	502	735							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,506	2,451						
	総事業費(A+B)		3,341	3,096	3,369	3,008	3,186							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,341	3,095	3,369	3,008	3,186							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,341	3,095	3,369	3,008	3,186								
財源計(C+D)		3,341	3,095	3,369	3,008	3,186								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	記念品贈呈者数	目標値	(単位:人)	154.00	172.00	163.00
			実績値	(単位:人)	135.00	141.00	/	
		達成度(%)		87.7	82.0			
	目標値の積算方法	人口推計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	22.93	21.33		
				一般財源(単位:千円)	22.93	21.33		
	(2) 成果指標	②	指標内容	金婚祝状贈呈者数	目標値	(単位:組)	582.00	367.00
実績値				(単位:組)	321.00	229.00	/	
達成度(%)			55.2	62.4				
目標値の積算方法		実績値による推計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.64	13.14		
				一般財源(単位:千円)	9.64	13.14		
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	100歳以上の高齢者の代表者へ市長が訪問し、その他には市職員が訪問し記念品贈呈します。結婚50年を迎える夫婦へ祝状を贈呈することにより、高齢者の長寿に祝意を表し、敬意を表します。			達成状況	高齢者への敬意と、長寿への祝意を伝えることができ、長寿を祝い高齢者を敬う社会づくりと高齢者福祉の推進につながりました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	高齢者を敬愛し、長寿を祝うことは、老人福祉法第5条の規定に合致します。市長の高齢者訪問や記念品贈呈、また、金婚祝状の贈呈により、事業の目的は達成できていると考えられるため、本事業は継続とします。						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	長寿祝賀事業	事業区分	その他
事務事業番号	00382				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00382
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

妥当性の役割分担について、年度内に100歳を迎える人には、国の依頼により調査を行い、市から銀杯及び内閣総理大臣名での賞状を届けています。
 持続可能性について、今後も100歳以上の高齢者人口の増加が見込まれますが、贈呈する記念品を変更するなど、事業費が増大しないよう事業運営を図る必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成19年度(2007年度)から平成23年度(2011年度)までは、88歳及び100歳前後の高齢者を旧西尾家及び中西家に招待していましたが、平成24年度(2012年度)からは、以前に行っていた市長の高齢者訪問に事業内容を変更しました。それに伴い、事業費の削減を行いました。市長が高齢者を訪問することによって祝意を述べ、記念品を贈呈することにより、また、平成25年度(2013年度)からは、結婚50年を迎えた夫婦に祝状を贈呈し、平成26年度(2014年度)からは、希望者に対し地区敬老行事において金婚祝状の贈呈を行うことにより、長寿を祝い、高齢者福祉を推進することができたと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	寿祝品贈呈事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	対象者の年齢算定を行う基準日の変更(平成23年(2011年)6月24日施行)											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	吹田市寿祝品贈呈要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	米寿(88歳)、白寿(99歳)を迎える市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	長寿を祝い、記念品を贈呈します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者福祉の増進													
(7)	事業概要	住民基本台帳により、当該年度の12月30日現在の該当年齢の市民を抽出し、民生委員を通じて記念品を贈呈します。各施設在住者は市職員から贈呈します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,074	5,655	6,422	5,660	7,020							
		人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
			総額(B)	千円	2,075	1,987	2,088	2,088	2,043						
		総事業費(A+B)		8,149	7,642	8,510	7,748	9,063							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		8,149	7,642	8,510	7,748	9,063							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			8,149	7,642	8,510	7,748	9,063								
財源計(C+D)		8,149	7,642	8,510	7,748	9,063									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市民生・児童委員協議会										
				②											
				③											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 贈呈者数(米寿・白寿)	目標値	(単位:人)	1,163.00	1,239.00	1,343.00
			実績値	(単位:人)	1,121.00	1,122.00	
		達成度(%)		96.4	90.6		
	目標値の積算方法 人口推計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.82	6.91		
			一般財源(単位:千円)	6.82	6.91		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	対象者が白寿と米寿の方であることから、記念品を「お米券」(白米)とし、民生委員を通じて手渡しで贈呈を行うことで、長寿を祝福しました。記念品は例年対象者から好評を得ています。		達成状況	高齢者福祉の増進が図れました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		記念品の贈呈による敬老の啓発意義は大きく、他の敬老関連事業が縮小する中で、本事業の重要性は増しているため、今後も継続とします。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	寿祝品贈呈事業	事業区分	その他
事務事業番号	00383				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00383
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性について、今後も高齢者人口の増加が見込まれますが、贈呈する記念品を変更するなど、事業費が増大しないよう事業運営を図る必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業費について定期的に見直しを行い、事業の持続性のため記念品単価の更新を行うなど、費用抑制を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	老人福祉施設建設費借入利子補給事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成7年度	改正内容	規則に規定する必要のない様式の削除等											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	社会福祉法人に対する助成に関する条例及び条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	社会福祉法人											
	結果(どのような効果が得られるのか)	社会福祉法人による特別養護老人ホーム等の整備を促進するとともに施設運営を安定的に行えるようにします。 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定めるサービス提供基盤の整備目標達成とともに、特別養護老人ホーム等が施設運営を安定して行うことで、利用者に提供するサービスの質が向上します。												
(7) 事業概要	特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、独立行政法人福祉医療機構からの借入金に係る利子の一部を助成します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	7	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,639	4,639	3,622	3,622	2,770							
	人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.10						
		総額(B)	千円	1,245	1,193	1,253	1,253	817						
	総事業費(A+B)		5,884	5,832	4,875	4,875	3,587							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		5,884	5,831	4,875	4,875	3,587						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		5,884	5,831	4,875	4,875	3,587								
財源計(C+D)		5,884	5,831	4,875	4,875	3,587								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	社会福祉法人藍野福祉会 他6法人										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	利子補給額	目標値	(単位:円)	4,639,000.00	3,622,000.00	2,770,000.00
			実績値	(単位:円)	4,639,000.00	3,622,000.00		
		達成度(%)				100.0	100.0	
	目標値の積算方法	各法人の利子償還表を基に補助額を算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	補助対象となる法人	目標値	(単位:法人)	8.00	7.00
	実績値			(単位:法人)	8.00	7.00		
	達成度(%)				100.0	100.0		
	目標値の積算方法	補助金を交付した法人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		729.00	696.43	
				一般財源(単位:千円)		729.00	696.43	
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		特別養護老人ホーム等の整備には多額の費用を要するものであり、整備誘導を図るとともに、社会福祉法人が施設の運営を安定的に行っていくために市財源による補助を行ってきました。国府の施設整備方針が転換され広域型大規模施設から地域密着型小規模施設へ整備の重点が移っているなかで、平成13年度(2001年度)以降新規案件の助成は行わないことになっています。現在続いている補助が、平成32年度(2020年度)をもって終了するので、その後事業を廃止します。						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	老人福祉施設建設費借入利子補給事業	事業区分	その他
事務事業番号	384				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	384
-----	-------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

新規案件への補助は行っていないため、評価点合計は低いですが、現在、補助を行っている法人が施設の運営を安定的に行っていくためには必要な事業です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>対象法人は、当初から本補助金を見込んで事業を開始しており、安定的な施設運営の維持・継続を図るため、現在、補助を行っている法人に対しては、事業を続ける必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者生きがい活動センター事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正内容	指定管理者候補者選定委員会の条文の追加											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立高齢者生きがい活動センター条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	60歳以上高齢者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者が教養を深め、又は相互に交流することに供し、生きがいづくりをすすめます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者の福祉の増進を図ります。													
(7)	事業概要	高齢者が健康や福祉、生きがいづくりに関する情報を得ることや、いきがい教室等を受講することにより、教養を高め、相互に交流することで、仲間づくりや世代間交流をはかり、生きがいづくりをすすめます。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	8	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		12,341	12,341	12,341	12,341	12,444							
		人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.60	0.60	0.80						
			総額(B)	千円	5,810	5,563	5,012	5,012	6,536						
		総事業費(A+B)		18,151	17,904	17,353	17,353	18,980							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		18,151	17,904	17,353	17,353	18,980							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			18,151	17,904	17,353	17,353	18,980								
財源計(C+D)		18,151	17,904	17,353	17,353	18,980									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市高齢クラブ連合会										
				②											
				③											
		主な委託内容		センターの管理運営業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	利用人数	目標値	(単位:人)	49,659.00	50,937.00	52,244.00
			実績値	(単位:人)	50,937.00	52,244.00	/	
		達成度(%)		102.6	102.6			
	目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.35	0.33		
				一般財源(単位:千円)	0.35	0.33		
	②	指標内容	貸室利用件数	目標値	(単位:件)	3,528.00	3,528.00	3,516.00
実績値				(単位:件)	2,349.00	2,448.00	/	
達成度(%)			66.6	69.4				
目標値の積算方法		貸室数×利用区分(午前・午後)×開所日数 (交流サロンを除く)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.62	7.09		
				一般財源(単位:千円)	7.62	7.09		
(2) 成果指標		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が 困難 などで 示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	高齢者が教養を高め、相互に交流することにより生きがいづくりをする拠点として、高齢者関係各種団体サークル及び高齢者が、高齢者生きがい活動センターを活用できました。			達成状況	高齢者関係各種団体サークル及び高齢者の教養を高め、相互に交流し、生きがいづくりをすすめることができました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		指定管理者制度を導入することにより、市民サービスの向上とセンターの効果的・効率的な管理運営に努めています。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい活動センター事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00385				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00385
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(3)について、現在の指定管理者である吹田市高齢者クラブ連合会の管理期間が平成29年3月31日までであるため、平成28年度に次の指定管理者の公募を行う予定であり、事業者を選考し、効率的な施設の管理運営を目指します。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>高齢者が教養を深め、相互に交流し、仲間づくりや世代間交流をはかることなどにより、生きがいづくりをすすめています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会の条文の追加											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立高齢者生きがい活動センター条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	高齢者生きがい活動センター												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	維持管理												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	長期保全												
(7)	事業概要	千里ニュータウンプラザ全体の施設管理経費のうち、高齢者生きがい活動センター分の管理経費の年間負担額の支出を行う事業です。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	9	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		35,963	35,549	36,235	35,483	36,529							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	836	836	817						
		総事業費(A+B)		37,623	37,139	37,071	36,319	37,346							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		37,623	37,138	37,071	36,319	37,346							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			37,623	37,138	37,071	36,319	37,346								
財源計(C+D)		37,623	37,138	37,071	36,319	37,346									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田PFI南千里(株)										
				②											
				③											
		主な委託内容		センターの維持管理											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	維持管理委託、設計・建設費、光熱水費	目標値	(単位:円)	35,963,000.00	36,235,000.00	36,529,000.00
			実績値	(単位:円)	35,548,506.00	35,482,239.00		
		達成度(%)				98.8	97.9	
	目標値の積算方法	予算額	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	高齢者生きがい活動センターの維持管理を行うことで、高齢者が教養を深め、又は相互に交流することにより生きがいづくりをする拠点として、高齢者生きがい活動センターを活用できました。				達成状況	生きがいづくりの拠点として、高齢者が教養を深め、又は相互に交流することができました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		高齢者が教養を深め、又は相互に交流することにより生きがいづくりをする拠点として設置した、高齢者生きがい活動センターが負担すべき年間建設費及び維持管理費等の支払を行う事業であり、建設・施設維持管理費等の平成43年度(2031年度)までの支払い計画が、吹田南千里PFI(株)との契約により締結されています。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00386				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00386
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

高齢者生きがい活動センターが負担すべき建設・施設維持管理費等の平成43年(2031年度)までの支払い計画について、吹田南千里PFI(株)と契約を締結しております。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>高齢者が教養を深め、又は相互に交流することにより生きがいづくりをする拠点として設置した、高齢者生きがい活動センターが負担すべき年間建設費及び維持管理費等の支払を行う事業です。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	老人福祉法、介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市が3年に一度高齢者を対象にした計画を策定												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者に対する保健事業(医療を除く)の実施に関する事、高齢者福祉事業の供給体制の確保に関する事及び介護保険事業の円滑な実施のための必要な事項を定めます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	明確な目標を持った計画的な施策運営を実現し、より高齢者の生活に即した計画になります。													
(7)	事業概要	高齢者保健福祉施策や介護保険事業の目標などを定めた高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を3年ごとに策定します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	94	中事業	99	小事業	99
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,607	4,227	0	0	3,690							
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	0.00	0.00	0.30						
			総額(B)	千円	8,300	7,947	0	0	2,451						
		総事業費(A+B)		11,907	12,174	0	0	6,141							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		11,907	12,174	0	0	6,141							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			11,907	12,174	0	0	6,141								
財源計(C+D)		11,907	12,174	0	0	6,141									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	平成27年度は事業実施なし													

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容 計画策定のための福祉審議会及び同高齢福祉部会の開催回数	目標値	(単位:回)	8.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	8.00	0.00	
			達成度(%)		100.0	0.0	
	目標値の積算方法 計画策定スケジュールにより設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,521.75	0.00		
			一般財源(単位:千円)	1,521.75	0.00		
	②	指標内容 計画策定のための庁内組織である検討推進委員会・同作業部会・同計画ワーキンググループの開催回数	目標値	(単位:回)	53.00	0.00	
実績値			(単位:回)	40.00	0.00		
達成度(%)			75.5	0.0			
目標値の積算方法 計画策定スケジュールにより設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	313.18	0.00			
		一般財源(単位:千円)	313.18	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	平成27年度は事業実施なし		達成状況	平成27年度は事業実施なし	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>3年ごとに行われる高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定については、法律で定められており、高齢者の実態に沿った施策を計画的に実現していくためには必要不可欠な事業です。</p> <p>平成27年度は第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の計画期間の初年度に当たるため、計画策定は行っていません。</p> <p>高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定機関として、福祉審議会に高齢福祉部会を設置してきましたが、平成37年の地域包括ケアシステム構築に向け、高齢福祉の分野を専門とする委員による検討・協議をより進めるため、平成29年度に(仮称)吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会を設置するため、拡充します。</p> <p>本事業は政策課題(mission24)の1(1)「高齢者が住み慣れた地域において、健康で安心して幸せに齢を重ねていくことができる「幸齢社会」を実現します。」をめざすものです。</p>				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00387				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00387
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に当たっては、3年ごとに国及び府から指針が示され、それに沿って計画策定を進めていくため事業実施の方法については3年ごとに見直しを行っています。
 計画に掲載しているすべての取組について、数値目標を設定することは難しいですが、可能な場合は数値目標を設定するとともに、その他の取組についても達成状況を確認し、計画の進捗管理を行っています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Appropriateness), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 5, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>平成26年度に、いわゆる団塊の世代がすべて75歳以上となる平成37年の状況を想定したうえで、平成37年の本市の地域包括ケアシステムのあるべき姿を示すとともに、その構築に段階的に取り組んでいくための具体的な施策展開を記載した第6期計画を策定しました。 第6期計画の進捗状況を管理しながら、平成28年度から第7期計画の策定に取り組んでいく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業は政策課題1(1)の「高齢者が住み慣れた地域において、健康で安心して幸せに齢を重ねていくことができる「幸齢社会」を実現します。」をめざすものです。

事務事業評価調書

事務事業名	老人福祉施設整備費積立事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和46年度	改正 内容	設置基金の追加による改正											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田市積立基金条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	老人福祉施設整備のための基金												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	老人福祉施設の整備促進等のための財源												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	老人福祉施設の充実													
(7)	事業概要	大規模特別養護老人ホーム等の老人福祉施設の整備促進等を目指し、施設整備の一部助成費や市の高齢者施設の整備費等に充当する財源とするために基金の積立を行います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	6	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		19	28	19	29	19							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		849	823	855	865	836							
		特定財源(C)		19	28	19	0	19							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	19	28	19	0	19							
		市負担(D)		830	795	836	865	817							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	830		795	836	865	817									
財源計(C+D)		849	823	855	865	836									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	計画的に老人福祉施設整備基金への積立を行う。			目標	老人福祉施設整備基金の充実を図る。	
	②	成果内容	計画的な老人福祉施設整備基金への積立を行うことによる、老人福祉施設の整備促進等。			達成状況	今後、老人福祉施設の整備促進等を図るための基金の充実を得ることができました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市の高齢者施設については、建築年数の経過とともに大規模な修繕や工事等が必要となり、その財源基盤を支える老人福祉施設整備費積立事業については、市の財源を有効に活用している事業です。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	老人福祉施設整備費積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	388				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	388
-----	-------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

大規模特別養護老人ホーム等の整備に対する一部補助については行わなくなったことから、評価点合計は低いですが、今後、市の高齢者施設の老朽化に伴い大規模な修繕や工事等が必要となると考えられることから、その財源基盤を支える老人福祉施設整備費積立事業は今後も必要な事業です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>介護保険制度導入後10年以上が経過し、国府の施設整備方針が転換され、広域型大規模施設から地域密着型小規模施設へ整備の重点が移っていること等を踏まえ、大規模特別養護老人ホーム等の整備費一部助成については、一定の役割を終えています。今後は、市の高齢者施設の老朽化に伴う大規模な修繕等に多額の費用を要するため、基金をその財源に充てていきます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市介護老人保健施設施設管理事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成4年度	改正 内容	吹田市介護老人保健施設における事業の追加											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市介護老人保健施設条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市介護老人保健施設											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護保険法に基づく老人保健施設、通所リハビリテーション事業所等としての活用を図る。												
(7) 事業概要	吹田市介護老人保健施設は指定管理者制度(利用料金制)を導入しているため、施設の管理運営は指定管理者による独立採算のもと行われますが、施設の大規模な修繕と工事は市が実施するものです。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	18	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		89,912	75,822	24,738	22,754	13,741							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		98,212	83,769	33,090	31,106	21,911							
	(内訳)	特定財源(C)		0	70	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		98,212	83,699	33,090	31,106	21,911						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		98,212	83,699	33,090	31,106	21,911								
財源計(C+D)		98,212	83,769	33,090	31,106	21,911								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団										
			②											
			③											
主な委託内容		指定管理者制度												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 入所者数(1日平均)	目標値	(単位:人)	100.00	100.00	100.00	
			実績値	(単位:人)	92.30	85.60		
			達成度(%)		92.3	85.6		
	目標値の積算方法	入所定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		907.57	363.39	
				一般財源(単位:千円)		906.81	363.39	
	②	指標内容 大規模修繕箇所数	目標値	(単位:箇所)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:箇所)	5.00	5.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		修繕コスト	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		16,753.80	6,221.20	
	一般財源(単位:千円)				16,739.80	6,221.20		
(2) 成果指標	①	指標内容 延入所者数	目標値	(単位:人)	36,500.00	36,600.00	36,500.00	
			実績値	(単位:人)	33,694.00	31,331.00		
			達成度(%)		92.3	85.6		
	目標値の積算方法	定員数×365日 (平成27年度は366日)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.49	0.99	
				一般財源(単位:千円)		2.48	0.99	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		老人保健施設として指定管理者による安定的な運営を維持していく上で、施設、設備の老朽化等に対応し、計画的な修繕、備品整備を行うことが必要なため、継続とします。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	吹田市介護老人保健施設施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00389				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00389
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

効率性の③が1点となっておりますが、本事業は指定管理で委託している事業であり、委託事業者は他機関と連携をとりながら、事業を行っており、本事業としては他との連携は行っていません。
 持続可能性の①②が1点となっておりますが、実施施設の老朽化等が進み、施設の維持管理のためには修繕、備品整備を行う必要があり、年々修繕工事が必要な箇所が増えております。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>指定管理者制度を導入しているため、介護報酬その他の利用料金等は指定管理者の収入とし独立採算方式で運営しているが、施設の大規模な修繕と工事は市が実施するため、建築年数とともに費用は増大します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年4月1日から訪問リハビリテーション事業を開始いたしました。

事務事業評価調書

事務事業名	シルバーハウジング生活援助員派遣事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成8年度	改正内容	全面改正											
(2) 直近の改正	平成16年度													
(3) 根拠法令等	吹田市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要項													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	シルバーハウジングの入居者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	自立して安全かつ快適な在宅生活を送れるよう支援します。 在宅生活を継続させることで生活の質を高め、福祉の増進を図ります。												
(7) 事業概要	<p>シルバーハウジングは、市営岸部中住宅、府営千里古江台住宅、府営吹田川園住宅の計3か所(計63戸)あります。入居者は65歳以上(配偶者は60歳以上で可能)で、単身者の場合、介護を受けながらも一人暮らしができることが必要です。本事業は、委託によりシルバーハウジングに生活援助員を派遣し、入居高齢者が安心して生活できるように、生活に関する相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応及び関係機関との連携調整等のサービスを提供します。なお、所得に応じた利用者負担があります。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		14,849	14,798	14,970	14,742	14,946							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.30	0.15	0.10						
		総額(B)	千円	4,279	4,075	2,701	1,351	884						
	総事業費(A+B)		19,128	18,873	17,671	16,093	15,830							
	特定財源(C)		16,195	15,950	14,752	0	12,916							
	(内訳)	国	7,555	6,647	6,890	0	6,174							
		府	3,778	3,324	3,445	0	3,086							
		その他	4,862	5,979	4,417	0	3,656							
	市負担(D)		2,933	2,923	2,919	16,093	2,914							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	2,933	2,922	2,919	0	2,914							
一般財源		0	1	0	16,093	0								
財源計(C+D)		19,128	18,873	17,671	16,093	15,830								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 恩賜財団済生会支部大阪府済生会		② 特定非営利活動法人いきいきライフ		③ 大阪キリスト教女子青年福祉会							
			主な委託内容		費用負担額の決定・徴収を除く事業運営									
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①		②		③							
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	生活援助員が対応した相談件数	目標値	(単位:件)	1,515.00	2,183.00	3,366.00
			実績値	(単位:件)	2,183.00	3,366.00	/	
				達成度(%)		144.1		154.2
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		10.51		4.78
				一般財源(単位:千円)		1.77	4.78	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	入居者からの生活上の相談や健康相談など様々な相談を受け、適切な助言・指導を行うことで、入居者はより安心して在宅生活を送ることができました。				達成状況	入居者の生活の質を高め、福祉の増進が図れました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		シルバーハウジングの入居者であるひとり暮らし高齢者等が安心して快適な生活を営むためには、生活援助員が行う生活相談・指導など身近な見守りが欠かせないため、シルバーハウジングへの生活援助員の派遣を引き続き行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	シルバーハウジング生活援助員派遣事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00391				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00391
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

効率性の③が1点となっておりますが、本事業は委託している事業であり、委託事業者は他機関と連携をとりながら、事業を行っており、本事業としては他との連携は行っていません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>シルバーハウジングは市内に3か所あり、生活援助員の派遣を行っている各法人には事業実施当初より委託しており、生活援助員は入居者との信頼関係の下、誠実かつ適正に委託業務を実施しており、在宅生活を支援するために必要な事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域密着型サービス整備補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	補助金の原資である、国による市町村交付金及び府の基金の補助単価等が変更になったため要綱を一部改正											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	吹田市地域密着型サービスにかかる施設整備補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	社会福祉法人、NPO法人											
	結果(どのような効果が得られるのか)	社会福祉法人等による地域密着型サービスの整備促進												
(7) 事業概要	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標達成に向け、社会福祉法人等による地域密着型サービスの整備を促進するため、整備費の一部を助成します。 平成27年度は補助対象事業がなく、補助を行っていません。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	7	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	17,922	0	0							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	4,176	0	0						
	総事業費(A+B)		0	0	22,098	0	0							
	特定財源(C)		0	0	17,922	0	0							
	(内訳)	国		0	0	17,922	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	4,176	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	4,176	0	0								
財源計(C+D)		0	0	22,098	0	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	社会福祉法人											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域密着型サービスの整備量	目標値	(単位:人/月)	1,001.00	862.00	2,127.00
			実績値	(単位:人/月)	755.00	758.00	
		達成度(%)		75.4	87.9		
	目標値の積算方法 高齢者人口、要介護認定者数等から地域密着型サービスの整備必要量を算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 地域密着型サービスの利用実績	目標値	(単位:人/月)	1,001.00	862.00	2,127.00
			実績値	(単位:人/月)	728.00	742.00	
		達成度(%)		72.7	86.1		
	目標値の積算方法 地域密着型サービスの整備必要量	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地域密着型サービスは平成18年(2006年)の介護保険制度改正の中で生まれたサービスであり、住み慣れた地域におけるなじみの関係の中でサービスの利用ができるよう、小規模な施設を市内にバランスよく整備していく必要があります。そのための誘導の手段として、国による市町村交付金制度等があり、基本的に市町村は財政的な負担なしに補助を行うことができるため、この制度を活用して介護サービス基盤を充実させていきたいと考えています。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地域密着型サービス整備補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00394				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00394
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

地域密着型サービスの整備を進めるために必要な事業ですが、地域密着型サービス事業者募集に対する応募が少なく、地域密着型サービスの整備が進んでいない状況です。そのため、目標を下回っている状況ですが、第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で見込んでいる整備必要量を確保するため、引き続き実施していく必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく小規模特別養護老人ホーム等の地域密着型サービスの整備必要量を確保するためには、有効な事業となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度(2015年度)については、補助対象法人より辞退届が提出されたため、全額が不用額となりました。

事務事業評価調書

事務事業名	認知症高齢者グループホーム等の防災改修等支援事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市認知症高齢者グループホーム等防災改修等補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内における既存の認知症高齢者グループホーム等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	防災対策目的や一定年数を経過して使用に堪えなくなったこと等による建物等の改修事業を促進します。												
(7) 事業概要	防災対策目的や一定年数を経過したこと等により改修を行う、市内の既存の認知症高齢者グループホーム等に対し、補助金を交付します。平成27年度は補助対象事業がなく、補助を行っていません。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	7	中事業	99	小事業	99
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	886	0	0	0							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(A+B)		0	886	0	0	0							
	特定財源(C)		0	886	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	886	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		0	886	0	0	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	市内の法人											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	補助金交付額	目標値	(単位:円)	887,000.00	0.00	/
			実績値	(単位:円)	886,000.00	0.00		
		達成度(%)		99.9	0.0			
	目標値の積算方法	各法人の改修費用を基に算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	補助対象となる法人	目標値	(単位:法人)	1.00		0.00
			実績値	(単位:法人)	1.00	0.00		
		達成度(%)		100.0	0.0			
	目標値の積算方法	補助金を交付した法人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,742.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	856.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		補助金の原資となる国の交付金を活用することで、市は財政的な負担なしに補助を行うことができます。市内の既存の認知症高齢者グループホーム等の改修意向を鑑みながら、今後も防災対策目的や一定年数を経過し使用に堪えなくなった施設等の改修費を助成することで、利用者の安全を確保し、サービスの質の向上を図っていく必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	認知症高齢者グループホーム等の防災改修等支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00395				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00395
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

認知症高齢者グループホーム等の防災改修等を支援することにより、利用者の安全を確保し、サービスの質の向上を図ることに寄与しています。大阪府では耐震を目的とした防災改修を主に対象とするなどし、事業の重点化を図っていますが、市内の事業者の意向も確認しながら、必要な改修に対し支援できるよう、目的や対象について検討する必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度導入後10年以上が経過し、開設後、一定年数が経過している施設が市内に数多くあることから、利用者の安全の確保やサービスの質の向上を図るために、有効な事業となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者日常生活用具給付等事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和51年度	改正内容	所得階層(自己負担額)、介護保険対象品目の給付、貸与の廃止											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	老人福祉法、吹田市高齢者日常生活用具給付等事業実施要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	おおむね65歳以上で、寝たきりやひとり暮らし等により、日常生活に不自由や不安がある人。												
	目標(どういう状態にしたいのか)	日常生活用具を給付および貸与することにより、日常生活の便宜を図る。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	在宅生活を支援し、福祉の向上を図る。												
(7) 事業概要	必要な用具(電磁調理器、火災警報器、自動消火器)を業者から購入、貸与(高齢者電話)する際に、購入費用から所得状況に応じた自己負担額を引いた残金を、市が助成するものです。用具の種類により限度額が決まっているため、限度額を超えるものを希望する場合は、所得状況に関わらず超過分は自己負担となります。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,452	4,916	5,484	4,586	5,111							
	人件費	職員数	人	0.30	0.40	0.30	0.30	0.50						
		総額(B)	千円	2,490	3,179	2,506	2,506	4,085						
	総事業費(A+B)		7,942	8,095	7,990	7,092	9,196							
	(内訳)	特定財源(C)		0	2	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	2	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		7,942	8,093	7,990	7,092	9,196						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		7,942	8,093	7,990	7,092	9,196								
財源計(C+D)		7,942	8,095	7,990	7,092	9,196								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 電磁調理器給付実績	目標値	(単位:台)	55.00	61.00	48.00	
			実績値	(単位:台)	44.00	37.00		
			達成度(%)		80.0	60.7		
	目標値の積算方法	予算積算値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		183.98	191.68	
				一般財源(単位:千円)		183.93	191.68	
	②	指標内容 年度末老人電話設置実績	目標値	(単位:台)	156.00	150.00	145.00	
			実績値	(単位:台)	145.00	145.00		
			達成度(%)		92.9	96.7		
目標値の積算方法	予算積算値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		55.83	48.91		
			一般財源(単位:千円)		55.81	48.91		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が 困 難 指 標 な 場 合 示 合 す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	身近な地域の相談窓口である地域包括支援センター活動の中で、対象者を適切に把握し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、包括的な支援策の一つとして機能させることが重要です。			達成状況	平成24年度、地域包括支援センターを増設したことで、対象者を適切に把握できるようになりました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		老人福祉法第10条の4第2項の規定に基づき、日常生活の便宜を図るための用具として定められており、高齢者の在宅での暮らしを支える制度であり、今後とも継続する必要があります。電磁調理器は普及が進み、申請数が減少傾向にあります。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者日常生活用具給付等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00396				

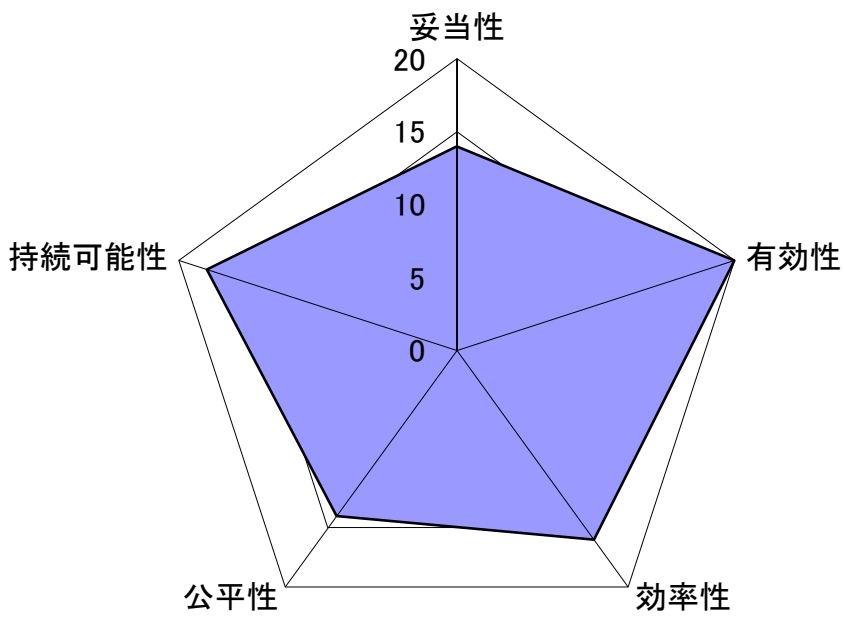
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00396
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>電磁調理器や自動消火器の給付は、一人暮らし高齢者で、認知症による火の不始末等で防災の視点で配慮が必要な方には、在宅での生活を支えるために必要です。電磁調理器は一般的にも利用の普及が進み、申請数は減少傾向にあります。</p> <p>高齢者電話については、現行の緊急通報システム事業を利用する場合に固定電話回線が必要であるため、その給付利用者にもご利用いただいています。平成27年8月議会から、利用可能回線の見直しを行い、多様な電話回線にも設置できることとなり、利用者の利便性を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	緊急通報システム事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成3年度	改正 内容	緊急通報システムの利用について、アナログ回線以外の光回線、ケーブル回線等にも承諾書の取得等を条件に利用可とする対応を規定した。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市高齢者日常生活用具給付等実施要綱 吹田市緊急通報システム事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	おおむね65歳以上で、寝たきりやひとり暮らし等により、日常生活に不自由や不安がある人。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	緊急通報装置を設置することにより、急病や災害などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図る。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	ひとり暮らしの高齢者等の生命を守り、利用者に安心感をもたらすことができる。												
(7)	事業概要	ひとり暮らしの高齢者等の家庭内に緊急通報装置を設置することにより、家庭内で病気等の緊急事態に陥ったときに緊急通報装置を用い発信した場合に、緊急通報受信センターで受信し、吹田市消防本部に救急車の出動要請を行うなど、必要な救助などを行い、利用者の安全を確保します。既に設置済の緊急通報装置が正常に作動することを確認するための点検業務等も行います。生計中心者の前年度の所得税額により利用者自己負担金が必要です。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		17,212	17,188	20,520	19,623	20,407							
		人件費	職員数	人	0.40	0.70	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	3,320	5,563	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		20,532	22,751	24,696	23,799	24,492							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		20,532	22,751	24,696	23,799	24,492							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			20,532	22,751	24,696	23,799	24,492								
財源計(C+D)		20,532	22,751	24,696	23,799	24,492									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	日本パナユーズ(株)										
				②											
				③											
		主な委託内容		装置の設置、点検及び受信、駆け付け業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 緊急通報装置新規設置件数	目標値	(単位:台)	210.00	210.00	210.00	
			実績値	(単位:台)	157.00	202.00		
			達成度(%)		74.8	96.2		
	目標値の積算方法	予算積算値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		144.92	117.82	
				一般財源(単位:千円)		144.92	117.82	
	②	指標内容	年度末設置台数	目標値	(単位:台)	2,400.00	2,400.00	2,105.00
実績値				(単位:台)	2,207.00	2,098.00		
達成度(%)		92.0	87.4					
目標値の積算方法		予算積算値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		10.31	11.34	
	一般財源(単位:千円)				10.31	11.34		
(2) 成果指標	①	指標内容 通報件数	目標値	(単位:件)	2,241.00	1,969.00	1,820.00	
			実績値	(単位:件)	1,774.00	1,653.00		
			達成度(%)		79.2	84.0		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12.83	14.40	
				一般財源(単位:千円)		12.83	14.40	
	②	指標内容	救急車出動回数	目標値	(単位:回)	296.00	245.00	247.00
実績値				(単位:回)	251.00	221.00		
達成度(%)		84.8	90.2					
目標値の積算方法		過去3年間の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		90.65	107.69	
	一般財源(単位:千円)				90.65	107.69		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		ひとり暮らし等の高齢者が急病等の緊急時に、迅速かつ適切な対応を図ることにより、生命と生活を守ります。高齢者や家族にとって、自宅での生活への支えとともに安心感を得られるという大切な事業であり、継続実施が必要です。 地区民生・児童委員が、自身の担当地区において緊急通報システムを利用している高齢者を名簿にて把握できるようにする取り組みも始めており、地域の高齢者を支援する上で行政との連携に役立っている。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	緊急通報システム事業	事業区分	その他
事務事業番号	00397				

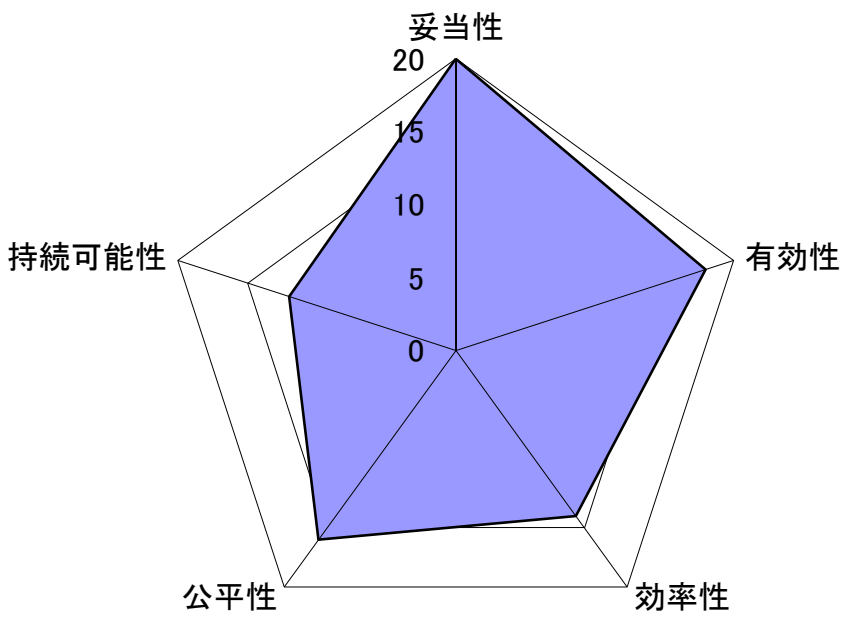
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00397
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>毎年、コンスタントに新規申請がありますが、設置数はほぼ横ばいです。利用者からは、緊急通報システムを設置することで安心して毎日が過ごせると評価を受けています。吹田市は、事業の契約、実施方法が他市と異なり、現在は改善をして長期継続契約を行っています。平成27年8月より、以前より市民の方から希望のあったアナログ回線以外での機器の設置について可能となるよう、要領の改正等を行いました。平成17年度からは補助金から交付税措置となり、特定財源がない形で継続しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者寝具乾燥消毒サービス事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和51年度	改正 内容	利用者負担金の増額											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	高齢者寝具乾燥消毒サービス事業実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	おおむね65歳以上で、ひとり暮らしや高齢者世帯であり、寝たきりなどの状況で寝具を干すことが困難な方。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	寝具の乾燥を通して、高齢者の在宅生活における保健衛生の向上を図る。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者の在宅生活の質の向上を図る。												
(7)	事業概要	1回あたり、掛布団、敷布団等の寝具類計4枚までの寝具乾燥として、1月と8月を除く各月の年10回実施しています。生計中心者の前年の所得税額により、利用者負担金が必要です。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,757	7,034	7,491	6,764	7,016							
		人件費	職員数	人	0.30	0.50	0.30	0.30	0.50						
			総額(B)	千円	2,490	3,974	2,506	2,506	4,085						
		総事業費(A+B)		9,247	11,008	9,997	9,270	11,101							
		特定財源(C)		192	168	180	167	188							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	192	168	180	167	188							
		市負担(D)		9,055	10,840	9,817	9,103	10,913							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	9,055		10,840	9,817	9,103	10,913									
財源計(C+D)		9,247	11,008	9,997	9,270	11,101									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社イワノ										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	利用件数	目標値	(単位:件)	3,786.00	3,872.00	3,620.00
			実績値	(単位:件)	3,656.00	3,487.00	/	
		達成度(%)			96.6	90.1		
	目標値の積算方法	予算積算件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.01		2.66
				一般財源(単位:千円)		2.97	2.61	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		過去3年間での最大利用件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	一人あたりの年間利用回数	目標値	(単位:回)	8.00	8.00
	実績値			(単位:回)	7.60	8.87	/	
	達成度(%)			95.0	110.9			
	目標値の積算方法	過去3年間での最大利用件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,448.42		1,045.10
				一般財源(単位:千円)		1,426.45	1,026.27	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	<p>本事業は介護保険サービスと組み合わせて利用される方も多く、また単独で利用される方についても継続的なサービスであるという事業の性格上、生活状況の悪化を察知でき、必要な支援を早期に導入できるなど、高齢者の在宅生活の質の向上に有効な事業です。高齢者が住み慣れた地域社会で生活を続けられるよう、事業の継続を図る必要があります。</p> <p>平成17年度に補助金から交付税措置となり、特定財源がない形で継続しています。</p>						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者寝具乾燥消毒サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00398				

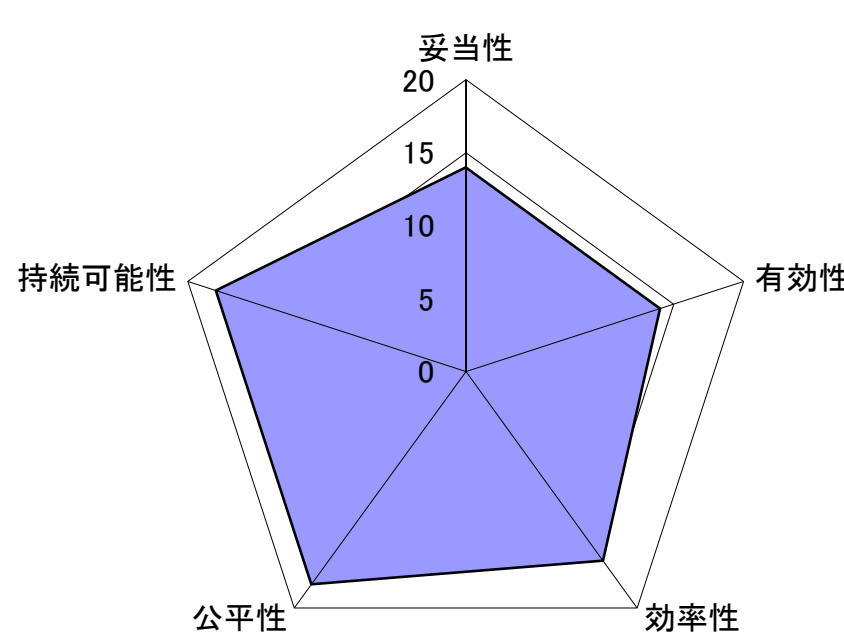
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00398
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>電動ベッドやマットレス等の福祉用具の充実や、布団価格の低下に伴い、買い替えが比較的容易になってきたことなどにより、利用者数は減少していますが、利用率は向上しており、サービスが必要な方への実施が進んでいます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	配食サービス事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	高齢者福祉施設において行う委託料単価の見直し。 (配食委託料450円から350円へ、欠食単価900円から800円へ。)											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市配食サービス事業実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	おおむね65歳以上で、心身の機能低下などにより、買い物や調理が困難なひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	栄養のバランスのとれた食事を定期的に提供するとともに、高齢者等の安否を確認することによって、在宅生活の支援を行う。また、食の自立支援の観点から食関連サービスの利用調整を行う。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者等が住み慣れた地域で、安心して生活できるようにする。												
(7)	事業概要	買い物や調理が困難な在宅の高齢者及び重度の障がい者に対して、週7回を上限に栄養のバランスのとれた食事を定期的に提供するとともに、安否確認を行います。配食の時間帯は昼か夕方、委託先によって異なります。また、アセスメント業務によって、食の自立支援の観点から定期的に利用者の心身の状況や食に関する状況等を調査しています。 1食あたり450円を利用者負担としています。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	6	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		53,314	43,004	44,062	40,767	43,397							
		人件費	職員数	人	0.80	0.70	0.80	0.80	0.50						
			総額(B)	千円	6,640	5,563	6,682	6,682	4,085						
		総事業費(A+B)		59,954	48,567	50,744	47,449	47,482							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		59,954	48,567	50,744	47,449	47,482							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			59,954	48,567	50,744	47,449	47,482								
財源計(C+D)		59,954	48,567	50,744	47,449	47,482									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	特定非営利法人友、友 他10団体										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				高齢者宅への食事の配達、安否確認							
①															
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	高齢者の生活実態とニーズは多様であり、食の確保、安否確認の必要な人数を指標で示すことが困難な事業です。			目標	食の確保が困難な高齢者の健康を守り、見守り体制を許可することで、生活リスクに対する早期対応を図ります。	
	②	成果内容	利用状況の調査を継続して実施することで、対象者を明確にし、安全な在宅生活の継続が可能となります。			達成状況	平成27年度は死亡事案1件、体調不良事案3件を把握し早期対応につなげています。実利用者数は年間延べ6,214人です。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		心身の状況に支援が必要であっても在宅生活を送る高齢者世帯が増えていることから、食の確保の手立てが必須である状況は拡大しています。民間事業所による多様な配食サービスの展開が進み、安否確認や2食配達、配食と買い物代行を組み合わせたサービス等が出現しており、利用者の選択の幅が広がり、価格競争も生じていますが、障がい者就労支援の観点も踏まえ、市としての取組は継続します。なお、委託内容は同様ですが、障がい者福祉の事業者とその他の事業者の委託料に100円の差を設けています。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	配食サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00399				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00399
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

栄養改善と安否確認により、リスクの高い独居高齢者や高齢者世帯であっても、在宅生活が長く継続でき、また介護保険サービスと効果的に組み合わせることで、適切なサービス利用量や内容につながる効果が期待されます。
個々のケースについての効果の検証は可能ですが、全般的な対象者の試算や効果の想定は困難です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市では、事業利用時に介護認定を条件にしていらないので、緊急に在宅生活を支える必要がある高齢者や、介護保険サービスを拒否する高齢者に導入しやすく、在宅生活を継続するための次の対応のつなぎとして効果的な側面を持っています。また、配達とともに安否確認を行うことで、平成27年度は死亡事案1件、体調不良事案3件を把握し、緊急事態に対する早期対応に効果を挙げています。 アセスメント業務により、状態の改善が見られた場合には、適切にサービス提供を終了しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国が示す、介護保険制度改正の日常生活支援総合事業の中に、多様な主体による生活支援サービスの提供内容として、栄養改善等を目的とした配食サービスも例示されています。本市の日常生活支援総合事業の進捗に合わせ、事業内容を検討する必要があります。

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者訪問理美容サービス事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市高齢者訪問理美容サービス事業実施要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一般の理美容サービスを利用することが困難な要介護4または5の認定を受けた在宅高齢者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	対象者の居宅を訪問し、当該対象者に理容または美容を行う。												
(7) 事業概要	理容業務又は美容業務を主業務とする業者が加齢による心身の衰弱、心身の障がい又は傷病等の理由により理髪店又は美容院に向くことが困難な高齢者の居宅を直接訪問し、当該高齢者に理美容サービスを行うことにより、高齢者の保健衛生の向上及び家族の在宅介護の負担軽減を図ります。 市が出張費用を負担(1回千円、年4回まで)、サービス利用料は本人負担。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	7	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		25	17	24	29	24							
	人件費	職員数	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	415	795	836	836	817							
	総事業費(A+B)		440	812	860	865	841							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		440	812	860	865	841						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		440	812	860	865	841								
財源計(C+D)		440	812	860	865	841								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	理美容業者										
			②											
			③											
	主な委託内容		対象者の居宅を訪問し、理美容サービス提供											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 対象者に発行した利用券枚数	目標値	(単位:枚)	80.00	70.00	82.00	
			実績値	(単位:枚)	70.00	82.00		
			達成度(%)		87.5	117.1		
	目標値の積算方法	前年実績より	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.60	10.55	
				一般財源(単位:千円)		11.60	10.55	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 利用枚数	目標値	(単位:枚)	25.00	24.00	24.00
	実績値			(単位:枚)	17.00	29.00		
	達成度(%)			68.0	120.8			
	目標値の積算方法	予算積算基礎より	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		47.76	29.83	
				一般財源(単位:千円)		47.76	29.83	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		在宅で介護を受けておられる方の生活の質の向上に寄与しており、事業の意義は大きいと考えます。事業利用実績が増加傾向にあります。今後、要介護度の高い高齢者であっても、公的サービス等を利用して在宅で生活するという選択を可能にする地域包括ケアシステム構築が進むことで、本事業の利用者も増加が見込まれると考えられます。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者訪問理美容サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00401				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00401
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>対象者を要介護4、または5の認定を受けた高齢者としているので、心身の状態が安定せず、交付枚数に比べ引換率は平成27年度は約35パーセントですが、平成26年度の引換率24パーセントと比較して、増加傾向にあります。今後、要介護度の高い高齢者であっても、公的サービス等を利用して在宅で生活するという選択を可能にする地域包括ケアシステムの構築が進むことで、本事業の利用者も増加が見込まれます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	介護予防サービス計画策定事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	介護保険法						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 4	細節 12			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	介護保険法に基づく要支援認定者					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	福祉の増進を支援する。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	心身の健康の保持及び地域において尊厳ある生活の維持が図られる。						
(7)	事業概要	<p>介護保険の指定介護支援事業所としての業務です。 介護保険の要支援認定者の介護予防サービス計画策定業務を実施するものです。 要支援認定者の状況やニーズに合わせ、自立支援につながるよう介護保険サービス等の支援計画を策定します。毎月、状況把握を行い、3か月には1回必ず家庭訪問を行い、計画の評価を行います。介護報酬請求事務も行います。</p> <p>サービス計画の一部については、民間の指定介護支援事業所へ委託を行っています。</p>						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 3	項 1	目 3	大事業 10	中事業 1	小事業 1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		4,065	4,226	11,995	11,640	14,453
		人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			総額(B)	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170
		総事業費(A+B)		12,365	12,173	20,347	19,992	22,623
		特定財源(C)		9,008	9,112	9,279	9,731	10,433
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	9,008	9,112	9,279	9,731	10,433
		市負担(D)		3,357	3,061	11,068	10,261	12,190
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,357		3,061	11,068	10,261	12,190		
財源計(C+D)		12,365	12,173	20,347	19,992	22,623		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	指定居宅介護支援事業所			
				②				
				③				
		主な委託内容		介護予防サービス計画の作成、連絡調整等				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	介護予防サービス利用者数	目標値	(単位:人)	178.00	164.00	173.00
			実績値	(単位:人)	164.00	173.00	/	
		達成度(%)		92.1	105.5			
	目標値の積算方法	介護予防サービス利用者数前年実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	74.23	115.56		
				一般財源(単位:千円)	18.66	59.31		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	介護予防サービス計画策定件数(介護予防支援報酬請求件数)	目標値	(単位:件)	1,993.00	1,991.00
	実績値			(単位:件)	1,991.00	2,031.00	/	
	達成度(%)		99.9	102.0				
	目標値の積算方法	介護予防サービス計画策定件数(介護予防支援報酬請求件数)前年実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.11	9.84		
				一般財源(単位:千円)	1.54	5.05		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標		
	成果内容				達成状況			
今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		<p>本事業は、包括的支援事業とともに地域包括支援センターの必須事業です。平成28年度は事業内容の大きな変更はありませんが、平成27年4月の介護保険制度改正において、要支援者へのサービス提供のあり方が大きく変更されたため、本事業も、現行どおり実施する部分と変更する部分があります。変更については早急に実施方法を決定し、地域包括職員、居宅介護支援事業所に研修を実施し、併せて市民に周知します。</p>						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護予防サービス計画策定事業	事業区分	その他
事務事業番号	00402				

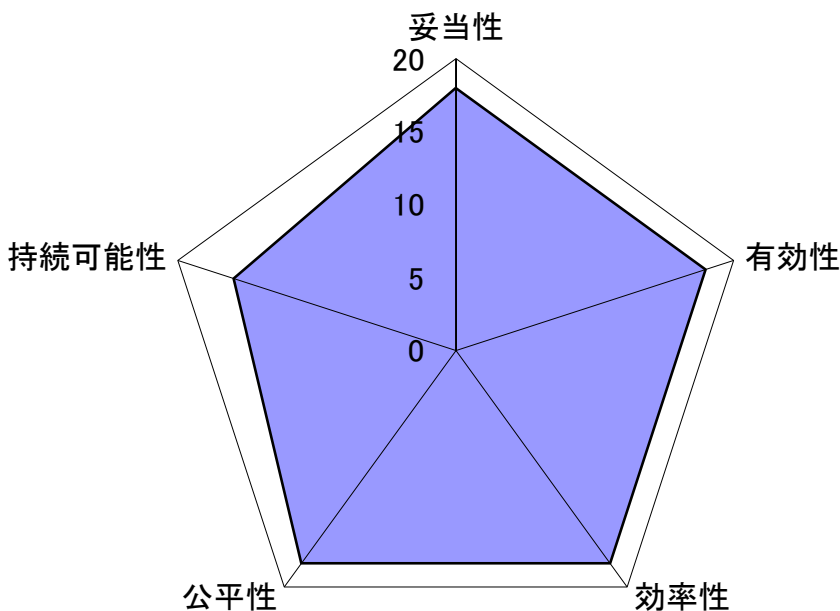
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00402
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、介護保険法において地域包括支援センターが包括的支援事業とともに実施すべき事業として定められています。介護予防サービス計画策定については、地域包括支援センター職員が担当するとともに、一部は民間の指定居宅介護支援事業所に委託して事業を進めてきました。</p> <p>介護保険法改正に伴い、要支援者へのサービス提供のあり方が大きく変更されるため、本事業も実施方法を早急に決定し、包括職員、居宅介護支援事業所に研修を実施し、併せて市民に周知します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年4月の介護保険法改正に伴い、本事業は、「介護予防・日常生活支援総合事業」に吸収されます。本市では平成29年4月実施を予定しています。

事務事業評価調書

事務事業名	地域包括支援センター運営協議会運営事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	地域包括支援センター運営協議会地域密着サービス部会を廃止し、運営協議会の中でその組織を兼ねる。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	12							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	地域包括支援センター運営協議会の運営											
	結果(どのような効果が得られるのか)	地域の関係者間のネットワーク構築やサービスの基盤整備を図ることができる。												
(7) 事業概要	地域包括支援センター運営協議会を開催することにより、地域包括支援センター及びに地域密着型サービス事業者の適正な運営を確保するための事業です。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	1	項	1	目	1	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		227	218	236	210	240							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	856	815	901	901	884						
	総事業費(A+B)		1,083	1,033	1,137	1,111	1,124							
	特定財源(C)		0	815	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	815	0	0	0						
	市負担(D)		1,083	218	1,137	1,111	1,124							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	218	0	0	0						
一般財源		1,083	0	1,137	1,111	1,124								
財源計(C+D)		1,083	1,033	1,137	1,111	1,124								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	地域包括支援センターの公平性と中立性を確保し、円滑かつ適正な運営を図るとともに、地域密着型サービスに係る事業者の指定及び指導監督等について適切な運営を確保することを目的としている。			目標	年2回。
	②	成果内容	年2回開催し、地域包括支援センターの活動内容、決算等の報告と、地域密着型サービスについて協議をした。			達成状況	年2回実施。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		この事業を実施することにより、地域密着型サービスの整備がすすみ、高齢者を支援するネットワークの輪も医療・保健・福祉に加えて権利擁護の分野にまで拡大しています。本事業は地域包括支援センターの適切、公正かつ中立な運営を図ることを目的として市町村が設置するよう介護保険法施行規則で定められており、今後も継続する必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地域包括支援センター運営協議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00403				

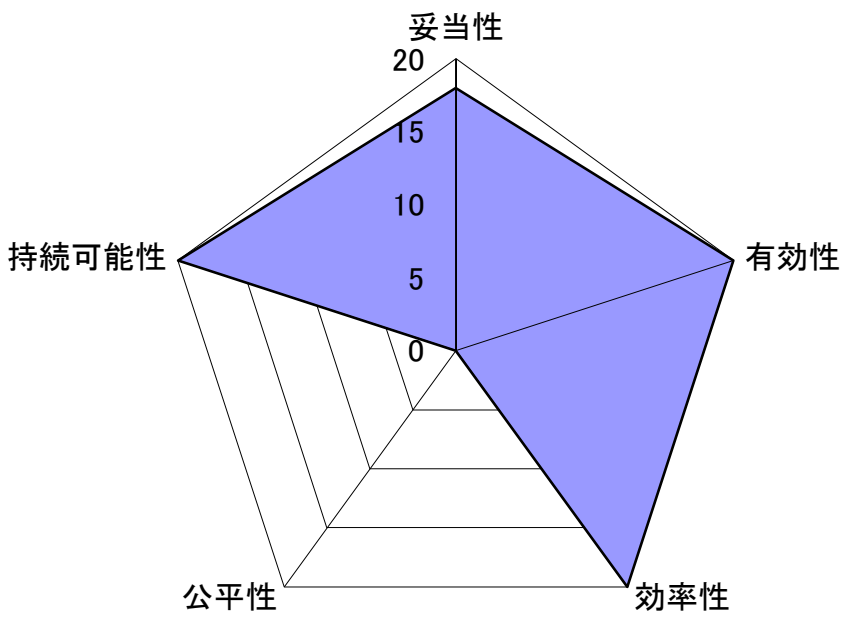
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00403
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は地域包括支援センターの適切、公正かつ中立な運営を図ることを目的に市町村が設置するものとして、介護保険法施行規則で定められています。 会議では、地域包括支援センターの役割や事業をわかりやすく報告するよう資料の作成に努めており、平成25年度には、社会福祉法人等への委託により設置した地域包括支援センター7か所の公正・中立性の評価を実施するとともに、直営を含めた地域包括支援センター業務の評価について、検討を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	運動器の機能向上事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	介護保険法							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 2	細節 20				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
		範囲等	二次予防事業対象者を中心とした、要介護状態に至るリスクの高い人						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者が、心身機能の低下や要介護状態、閉じこもり状態などに至ることを予防し、日常生活の自立を促進することで、慣れ親しんだ地域社会においてその人らしい生活をより長く続けていけること。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	要介護状態や閉じこもり状態に至る人の減少、家族等の介護にあたる人の減少、介護給付費、医療費の削減、地域社会の活性化。							
(7)	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力、持久力、バランス、協調性、柔軟性などを高め、転倒予防能力や身の回り動作自立度の維持向上を目的とした運動 ・集中力、理解力、判断力などを高め、認知症予防を促す訓練 ・手、指や上肢機能を高め、日常生活に役立てるための運動 ・口腔周辺の機能を高め、食事能力や健康増進を図る訓練 ・対象者が利用終了後も介護予防や閉じこもり予防、交流活動を続けていけることを目的とした、自主グループの設立・運営支援 ・介護予防に関心を持ち、市民の協働参画の立場で積極的に活動できるボランティア(介護予防推進員)の育成、支援など 							
(8)	H27事業別予算コード	会計 12	款 5	項 1	目 1	大事業 2	中事業 1	小事業 1	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		9,911	10,115	9,974	10,141	10,138	
		人件費	職員数	人	1.20	1.30	1.29	1.29	1.30
			総額(B)	千円	10,270	10,594	11,614	11,614	11,486
		総事業費(A+B)		20,181	20,709	21,588	21,755	21,624	
		特定財源(C)		17,659	19,445	18,890	19,036	20,355	
		(内訳)	国		5,044	4,961	5,394	5,439	5,405
			府		2,522	2,480	2,698	2,719	2,705
			その他		10,093	12,004	10,798	10,878	12,245
		市負担(D)		2,522	1,264	2,698	2,719	1,269	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
その他			0	1,264	0	0	1,269		
一般財源			2,522	0	2,698	2,719	0		
財源計(C+D)		20,181	20,709	21,588	21,755	21,624			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	年間の延参加者数	目標値	(単位:人)	4,937.00	5,362.00	5,648.00
			実績値	(単位:人)	5,362.00	5,648.00	/	
		達成度(%)			108.6	105.3		
	目標値の積算方法	年間の延参加者数前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.86		3.85
				一般財源(単位:千円)		0.38	0.48	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	教室終了後の自主グループ活動数	目標値	(単位:グループ)	29.00	29.00
	実績値			(単位:グループ)	29.00	34.00	/	
	達成度(%)			100.0	117.2			
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		714.14		639.85
				一般財源(単位:千円)		69.45	79.97	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>活動指標である延参加者数は、年々増加しています。効果的な介護予防のためには、多面的なサポートが必要ですが、実施内容の改善とともに、通所終了後の自主グループ活動支援、市民ボランティア(介護予防推進員)の育成にも積極的に取り組んでおり、要介護・要支援状態に至るリスクの高い二次予防事業対象者の機能維持向上に努めています。</p> <p>平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっています。平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業実施に向け、通所型の介護予防事業を見直し、歩いて行ける場所で、運動器の機能向上の効果のある体操(いきいき百歳体操)を住民主体で行うことができるように事業を展開していくため、本事業は、廃止します。</p>					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	運動器の機能向上事業	事業区分	その他
事務事業番号	00404				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00404
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

運動器の機能向上事業は二次予防事業として実施してきましたが、平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっており、今後の事業運営については、一次予防事業として介護予防普及啓発事業に移行します。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護認定を受けていない高齢者に介護予防事業アンケート実施し、介護予防事業の対象となった方を対象に、事業を実施しています。市内8カ所、13グループを運営し、居住地による通所利便性の格差解消に努めています。事業内容としては、運動器の機能向上に関する内容を基本にしなから、認知症予防や口腔機能向上(保健センター歯科衛生士による)に関する内容も定期的実施し、充実を図っております。通所期間は6か月間ですが、終了後も介護予防への取組意欲を維持できるよう、自主グループでの活動を勧めており、自主グループへの定期的な運営支援も行っています。現在、自主グループは、34グループが活動しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっています。平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業実施に向け、65歳以上の在宅の高齢者を対象とする介護予防普及啓発事業に移行するため、本事業を廃止します。

事務事業評価調書

事務事業名	口腔機能向上事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	口腔機能低下のある二次予防事業対象者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	口腔機能の状態を改善する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	口腔機能の状態を改善することにより、要介護状態になることを予防し、すこやかな老後を過ごす。													
(7)	事業概要	歯科医師、歯科衛生士、保健師等が実践方法を交えて口腔機能強化のための健口体操や口腔メンテナンスの方法、口腔機能向上の必要性等について説明しています。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		441	425	466	462	466							
		人件費	職員数	人	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	428	815	901	901	884						
		総事業費(A+B)		869	1,240	1,367	1,363	1,350							
		特定財源(C)		759	1,186	1,197	1,193	1,291							
		(内訳)	国		217	301	341	340	337						
			府		110	150	170	170	170						
			その他		432	735	686	683	784						
		市負担(D)		110	54	170	170	59							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	53	0	0	59						
一般財源			110	1	170	170	0								
財源計(C+D)		869	1,240	1,367	1,363	1,350									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年間事業実施回数	目標値	(単位:回)	18.00	18.00	/
			実績値	(単位:回)	18.00	18.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	年間事業実施回数前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	68.89	75.72	
				一般財源(単位:千円)	6.33	9.44	
	②	指標内容 年間参加延べ人数	目標値	(単位:人)	344.00	323.00	
実績値			(単位:人)	323.00	305.00		
達成度(%)			93.9	94.4			
目標値の積算方法	年間参加延べ人数前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.84	4.47		
			一般財源(単位:千円)	0.35	0.56		
(2) 成果指標	①	指標内容 事業参加の前後で評価を行い、維持向上できた人の割合	目標値	(単位:%)	80.00	80.00	/
			実績値	(単位:%)	86.10	84.35	
			達成度(%)		107.6	105.4	
	目標値の積算方法	向上、維持を合わせて80%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14.40	16.16	
				一般財源(単位:千円)	1.32	2.02	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>口腔機能向上事業と栄養改善事業を同時に行い、スタッフの効率化を図っています。食事能力アセスメントの結果、口腔機能の維持向上を図れた割合が高く、口腔機能向上を図ることで、介護状態になることを予防し、介護給付費の削減が期待できます。</p> <p>平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進することとなり、平成29年介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、口腔機能向上の啓発事業としては、介護予防普及啓発に移行し、二次予防事業対象者のための口腔機能向上事業については、廃止します。</p>				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	口腔機能向上事業	事業区分	その他
事務事業番号	405				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	405
-----	-------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

口腔機能向上事業は二次予防事業として実施してきましたが、平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっており、今後は、65歳以上の在宅の全高齢者を対象とした介護予防普及啓発事業へ移行します。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>口腔機能向上事業に参加された市民に終了半年後にアンケート調査を行い、その結果、教室受講後、75%の市民が口腔の状態の変化を感じており、特に「むせることが少なくなった」「口の渇きがなくなった」「飲み込みがしやすくなった」の項目で改善率が高い結果となりました。また、事業参加終了後、口腔に関する生活習慣の変化があった方は9割以上で、その内8割以上の方が現在もその生活習慣を継続しているという結果でした。</p> <p>このことから、当事業の参加により、口腔機能向上に関する知識を習得し、介護予防のための生活習慣を継続できており、事業効果は高いと考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進することになっており、平成29年介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、口腔機能向上の啓発事業としては、介護予防普及啓発に移行し、二次予防事業対象者のための口腔機能向上事業については、廃止します。

事務事業評価調書

事務事業名	栄養改善事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	栄養改善の必要のある二次予防事業対象者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	栄養状態を改善し、要介護状態にならないように支援する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	要介護状態にならないようにすることで、介護給付費を抑えることができ、また、すこやかな老後を過ごすことができる。												
(7) 事業概要	低栄養状態にある高齢者に対して、管理栄養士がバランスのよい食事やその実践の仕方について支援を行います。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	3
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		109	108	109	100	109							
	人件費	職員数	人	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	428	815	901	901	884						
	総事業費(A+B)		537	923	1,010	1,001	993							
	特定財源(C)		469	909	885	876	979							
	(内訳)	国		134	228	252	250	248						
		府		68	114	125	125	125						
		その他		267	567	508	501	606						
	市負担(D)		68	14	125	125	14							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	14	0	0	14						
一般財源		68	0	125	125	0								
財源計(C+D)		537	923	1,010	1,001	993								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年間事業実施回数	目標値	(単位:回)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:回)	10.00	10.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	年間事業実施回数前年実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	92.30	100.10	
				一般財源(単位:千円)	7.80	12.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 参加延べ人数	目標値	(単位:人)	225.00	203.00	/
			実績値	(単位:人)	203.00	239.00	
			達成度(%)		90.2	117.7	
	目標値の積算方法	前年の参加延件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.55	4.19	
				一般財源(単位:千円)	0.38	0.52	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>二次予防事業としての栄養改善事業は、10回開催しており、そのうち4回は、講演会を開催し、6回は、口腔機能向上事業と同時に行い、スタッフの効率化を図りました。栄養改善事業は市民と協働して事業を実施しており、栄養改善を図ることで元気に過ごし、要介護状態になることを予防する効果があるもので、今後とも継続する必要がありますが、平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進することとなっており、平成29年介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、栄養改善の啓発事業としては、介護予防普及啓発に移行し、二次予防事業対象者のための栄養改善事業については、廃止します。</p>				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	栄養改善事業	事業区分	その他
事務事業番号	00406				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00406
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

栄養改善事業は二次予防事業として実施してきましたが、平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっており、今後の事業運営については、本事業を縮小し、介護予防普及啓発事業へと方向転換を図ります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>栄養改善事業の対象者は、低栄養状態の高齢者であり、動機づけが難しく、通所形式の事業では参加者が少ないため気軽に参加できる講演会形式で実施しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進することになっており、平成29年介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、栄養改善の啓発事業としては、介護予防普及啓発に移行し、二次予防事業対象者のための栄養改善事業については、廃止します。

事務事業評価調書

事務事業名	介護予防訪問指導事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	二次予防事業対象者であって、心身の状況などにより通所形態による事業の参加が困難な人												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	保健師・看護師等が訪問して適切な保健指導を行い、心身機能の低下防止と要介護状態になることを予防する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者が要介護状態等となることを予防することにより、一人一人が活動的で生きがいのある生活を送ることができる。													
(7)	事業概要	二次予防事業対象者に対し、保健師、看護師等が、介護予防事業への参加勧奨と状況把握のための訪問あるいは電話を行い、通所型事業に参加できない場合、定期的に対象者の居宅を訪問し、対象者の心身の状況等を確認するとともに、必要な相談・指導等を実施します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	1	目	1	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,399	1,221	1,400	1,246	1,400							
		人件費	職員数	人	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	428	815	901	901	884						
		総事業費(A+B)		1,827	2,036	2,301	2,147	2,284							
		特定財源(C)		1,598	1,883	2,014	1,879	2,109							
		(内訳)	国		457	483	575	536	571						
			府		229	241	287	268	286						
			その他		912	1,159	1,152	1,075	1,252						
		市負担(D)		229	153	287	268	175							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	153	0	0	175								
一般財源			229	0	287	268	0								
財源計(C+D)		1,827	2,036	2,301	2,147	2,284									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 介護予防事業勧奨と二次予防対象者の状況把握のための訪問、電話、文書発送件数	目標値	(単位:件)	1,760.00	1,727.00	7,238.00	
			実績値	(単位:件)	1,727.00	7,238.00		
			達成度(%)		98.1	419.1		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.18	0.30	
				一般財源(単位:千円)		0.12	0.04	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 二次予防事業に参加した人数	目標値	(単位:人)	287.00	326.00	536.00
	実績値			(単位:人)	326.00	536.00		
	達成度(%)			113.6	164.4			
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.25	4.01	
				一般財源(単位:千円)		0.63	0.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護予防事業アンケートの結果、二次予防事業対象者となった方に対して、介護予防事業利用勧奨と、本人の状況把握のため文書の発送や電話、訪問等を行っています。平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進することとなり、平成29年介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、二次予防事業対象者のための介護予防訪問指導事業については、廃止の方向で検討しています。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護予防訪問指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00407				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1	点
		評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00407
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

介護予防訪問指導事業は二次予防事業として実施してきましたが、平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっており、今後の事業運営については、本事業を廃止し、住民主体の介護予防活動へと方向転換を図ります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護予防事業アンケートの結果、二次予防事業対象者となった方については、介護予防事業利用勧奨と、本人の状況把握のため、文書の発送や電話、訪問等を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進することになっており、平成29年介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、二次予防事業対象者のための介護予防訪問指導事業については、廃止の方向で検討しています。

事務事業評価調書

事務事業名	介護予防普及啓発事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正内容	根拠となる法律が、老人保健法から介護保険法に変わったため											
(2)	直近の改正	平成18年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	概ね65歳以上の市民(一部65歳以下も含む)												
		目標(どういう状態にしたいのか)	地域において介護予防に資するよう自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築をめざす。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	高齢者が要介護状態になることを予防することにより、一人一人が活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができる。													
(7)	事業概要	認知症予防、口腔機能向上、栄養改善、笑いと介護予防等の講演会、介護予防推進員(ボランティア)養成講座、地域に出向いての講座の開催とはつらつ教室OB会等の自主組織に対する支援等を行っています。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	12	款	5	項	1	目	1	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		588	588	588	2,027	4,827							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
			総額(B)	千円	856	815	901	901							
		総事業費(A+B)		1,444	1,403	1,489	2,928	5,711							
		特定財源(C)		1,264	1,234	1,304	2,562	5,109							
		(内訳)	国		361	338	372	732							
			府		180	169	185	366							
			その他		723	727	747	1,464							
		市負担(D)		180	169	185	366	602							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0							
その他			180	169	185	366									
一般財源			0	0	0	0									
財源計(C+D)		1,444	1,403	1,489	2,928	5,711									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	特定非営利活動法人コーチズ大阪										
				②											
				③											
		主な委託内容		認知症予防教室の実施											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 延べ実施回数	目標値	(単位:回)	223.00	238.00	372.00	
			実績値	(単位:回)	238.00	372.00		
			達成度(%)		106.7	156.3		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.89	7.87	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 述べ参加者数	目標値	(単位:人)	4,278.00	4,629.00	6,541.00
	実績値			(単位:人)	4,629.00	6,541.00		
	達成度(%)			108.2	141.3			
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.30	0.45	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>平成27年度から認知症予防教室と、公園体操を実施することで、延べ実施回数、延べ参加者数が増加しました。認知症対策の取り組みと住民主体の予防活動への支援は、第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において重点課題となっています。</p> <p>平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっています。平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業実施に向け、従来の介護予防普及啓発事業を引き続き実施し、二次予防事業対象者向けの通所型の介護予防事業を見直し、歩いて行ける場所で、運動器の機能向上の効果のある体操(いきいき百歳体操)を住民主体で行うことができるように事業を展開していきます。</p>					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護予防普及啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00408				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。			
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。					
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点			
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00408
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっており、平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業実施に向け、従来の介護予防普及啓発事業を引き続き実施し、住民主体で行う介護予防事業の実施へと事業の見直しを行っていきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>認知症予防については、市民の関心が高いため、平成27年度より認知症予防教室を業者委託により行っています。また、地域の介護予防活動として、介護予防推進員(市民ボランティア)が中心となり、身近な公園で高齢者向けに公園体操を始めました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっています。平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業実施に向け、従来の介護予防普及啓発事業を引き続き実施し、二次予防事業対象者向けの通所型の介護予防事業を見直し、歩いて行ける場所で、運動器の機能向上の効果のある体操(いきいき百歳体操)を住民主体で行うことができるように事業を展開していきます。

事務事業評価調書

事務事業名	介護支援サポーター事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正 内容	受入施設に病院を追加											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法、吹田市介護支援サポーター活動助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	本市の介護サービスを利用していない介護保険第1号被保険者(65歳以上)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	元気高齢者が介護支援サポーター活動に参加することで、地域貢献を図ると同時に、健康づくりをはじめ介護予防等を推進する。 高齢者自身の社会参加と健康増進を図ることで、高齢者が要介護状態になることを予防する。												
(7) 事業概要	介護サービスを利用していない高齢者が、養成研修を受講した後にサポーターとして登録し、介護保険施設等において、活動を行った場合にポイントが付与する仕組み。ポイントは、換金可能。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	1	目	1	大事業	2	中事業	5	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,205	1,950	2,180	2,180	2,180							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	856	815	901	901	884						
	総事業費(A+B)		3,061	2,765	3,081	3,081	3,064							
	特定財源(C)		2,678	2,521	2,697	2,697	2,792							
	(内訳)	国		765	650	770	770	766						
		府		383	325	384	384	383						
		その他		1,530	1,546	1,543	1,543	1,643						
	市負担(D)		383	244	384	384	272							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	244	0	0	272						
一般財源		383	0	384	384	0								
財源計(C+D)		3,061	2,765	3,081	3,081	3,064								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(福)吹田市社会福祉協議会										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護支援サポーター養成研修、ポイント換金											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年度末登録者数	目標値	(単位:人)	289.00	339.00	409.00
			実績値	(単位:人)	291.00	391.00	/
		達成度(%)		100.7	115.3		
	目標値の積算方法 介護保険事業計画	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.51	7.88		
			一般財源(単位:千円)	0.99	0.98		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 介護支援サポーターポイント申請者数(≒活動者数)	目標値	(単位:人)	100.00	100.00
	実績値			(単位:人)	86.00	95.00	/
	達成度(%)		86.0	95.0			
	目標値の積算方法 前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	32.16	32.43		
			一般財源(単位:千円)	3.35	4.04		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		活動者数が伸び悩んでいることを受け、以前からの懸案事項であった地域によって活動する施設に偏りがあるという問題を解消するため、平成28年4月から介護支援サポーター受入施設に市内の病院を加えました。受入施設を拡大することで介護支援サポーター活動を更に活発化させていこう、委託している吹田市社会福祉協議会と協議をしていきます。加えて、総合事業の実施に当たり、ボランティア活動との有機的な連携を図る等地域の人材を活用していくことが重要になってくるため、元気な高齢者が地域で社会参加できる機会を増やし、出来る限り多くの高齢者が地域で支援を必要とする高齢者の支え手となっていくことで、総合事業がめざす地域づくりにつなげることが目標となります。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護支援サポーター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00410				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00410
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年度より事業を開始し、現在約400名近く登録者がいますが、活動者数は約4分の1です。平成28年4月から病院を活動場所として登録することにしたため、意欲的で元気な高齢者の方の活動が更に広がるような事業展開を検討し実施することが重要だと考えています。今後とも、高齢者の社会参加の場として、介護予防につながる大切な事業であるため、委託先の吹田市社会福祉協議会と協議の場を持ち、活動できる施設の開拓や現登録施設への再度の周知、研修を行い、登録者数、活動者数の増加を図るよう検討しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	街かどデイハウス介護予防事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	介護保険法、吹田市街かどデイハウス事業補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
(6) 目的	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他										
	対象 (誰を、何を)	範囲等 民間非営利団体、特定非営利活動法人等												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	街かどデイハウスを運営している民間非営利団体、特定非営利活動法人等に補助金を交付することによって、おおむね65歳以上の高齢者に対し、介護予防や生活支援等を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護予防活動の普及による高齢者の生活の質の向上等												
(7) 事業概要	介護予防又は生活支援等を必要とする高齢者を対象に、柔軟できめ細やかな介護予防サービス等を提供する民間の非営利団体等に対して、運営費等について補助金を交付するものです。 (事業費・施設借上費・初度設備費の各補助は別事業(一般会計)) 利用者は、時間等に応じた利用料を自己負担。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	1	目	1	大事業	2	中事業	5	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22,000	13,921	19,870	14,613	19,870							
	人件費	職員数	人	0.15	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	1,284	815	901	901							
	総事業費(A+B)		23,284	14,736	20,771	15,514	20,754							
	特定財源(C)		20,374	12,996	18,177	13,575	18,161							
	(内訳)	国	5,820	3,386	5,189	3,878	5,185							
		府	2,910	1,693	2,594	1,939	2,593							
		その他	11,644	7,917	10,394	7,758	10,383							
	市負担(D)		2,910	1,740	2,594	1,939	2,593							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	1,740	0	0	0							
		一般財源	2,910	0	2,594	1,939	2,593							
財源計(C+D)		23,284	14,736	20,771	15,514	20,754								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	特定非営利活動法人 虹 他7団体										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	街かどデイハウス運営施設数	目標値	(単位:か所)	9.00	9.00	9.00
			実績値	(単位:か所)	8.00	8.00	/	
		達成度(%)		88.9	88.9			
	目標値の積算方法	予算積算数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,841.88	1,939.25		
				一般財源(単位:千円)	211.63	242.38		
	(2) 成果指標	②	指標内容	延利用者数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00
実績値				(単位:人)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		計画値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	延利用者数	目標値	(単位:人)	16,000.00	16,000.00
	実績値			(単位:人)	15,565.00	15,701.00	/	
	達成度(%)		97.3	98.1				
	目標値の積算方法	計画値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.95	0.99		
				一般財源(単位:千円)	0.11	0.12		
	(4) 総合評価	②	指標内容	延利用者数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00
実績値				(単位:人)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		計画値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定							
	評価の説明	急速な高齢化の進展に伴う介護保険事業への負担抑制の為、介護予防事業の充実が重要であり、介護予防や生活支援等を必要とする高齢者に対して、介護予防サービス等を提供し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を続けられるよう支援しています。また、介護予防活動等を通じて、高齢者の閉じこもりや社会的孤立の防止等に役立っており、継続して事業を行っていく必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	街かどデイハウス介護予防事業	事業区分	その他
事務事業番号	00411				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00411
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>街かどデイハウス事業の実施団体は、介護予防や日常生活上の支援が必要な人を支援するため、地域住民の自発的な取組からスタートし、地域住民が主体となって施設を運営しており、その運営費等の補助を行っています。しかしながら、実施団体のスタッフの高齢化が進んでおり、スタッフの不足等、体制的に厳しい団体があります。また、書類作成等の事務処理が難しい団体もあり、市がサポートをしている状況です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成21年度からの大阪府の補助金削減に対応するため、介護保険地域支援事業を活用し、介護予防事業への補助を設ける等の事業再編を行いました。平成23年度から、大阪府の補助金が交付金に変更され、地域福祉・子育て支援交付金に一本化されました。平成27年度からの介護保険制度の改正による、地域支援事業(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)の実施に伴い、本事業の位置付けやあり方について検討が必要です。また、財源構成や対象者の要件等についても検討する必要があります。

事務事業評価調書

事務事業名	委託型地域包括支援センター事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容	委託型地域包括支援センターを3か所開設するにあたり、地域包括支援センターの名称及び位置の一部を改正。											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法 吹田市地域包括支援センター設置要項													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	概ね65歳以上の高齢者とその家族、介護者等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるようにすること。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域住民の保健・医療の向上及び福祉の増進を図る。													
(7)	事業概要	地域包括支援センターは介護保険法の規定に基づき、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健・医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域において包括的支援事業等を一体的に実施する役割を担う中核機関として設置されています。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		118,480	116,980	119,166	119,166	170,836							
		人件費	職員数	人	2.00	0.30	2.00	2.00	0.70						
			総額(B)	千円	17,116	2,445	18,006	18,006	6,185						
		総事業費(A+B)		135,596	119,425	137,172	137,172	177,021							
		特定財源(C)		108,818	96,325	110,426	110,426	143,710							
		(内訳)	国	53,557	40,939	53,493	53,493	69,033							
			府	26,778	20,470	26,746	26,746	34,517							
			その他	28,483	34,916	30,187	30,187	40,160							
		市負担(D)		26,778	23,100	26,746	26,746	33,311							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	23,100	0	0	33,311							
一般財源	26,778		0	26,746	26,746	0									
財源計(C+D)		135,596	119,425	137,172	137,172	177,021									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	社会福祉法人寿楽福祉会他6法人										
				②											
				③											
		主な委託内容		地域包括支援センターの運営に関わる事業											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	地域包括支援センター設置箇所数	目標値	(単位:箇所)	7.00	7.00	10.00
			実績値	(単位:箇所)	7.00	7.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	市内6ブロックに各1箇所(直営)であったセンターを各ブロックに複数配置し、15箇所に増設します。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		17,060.71		19,596.00
				一般財源(単位:千円)		2,910.00	3,820.86	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	総合相談件数	目標値	(単位:件)	11,446.00	11,446.00	0.00
			実績値	(単位:件)	7,734.00	0.00	/	
		達成度(%)		67.6	0.0			
	目標値の積算方法	平成23年度総合相談件数 5,723件×2=11,446件	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		15.44		0.00
				一般財源(単位:千円)		2.63	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>平成27年7月定例会において新たな3か所の委託型センターの選定に係る補正予算が可決され、受託法人を選定し、平成28年4月から委託型10センター、直営型5センター、合わせて15センターを設置運営しています。</p> <p>平成24年10月から委託型地域包括支援センターを運営していく中で、職員が入れ替わるセンターが複数ありましたが、法人の努力や直営職員の支援でバックアップしてきました。</p> <p>そのような状況の中でも成果指標のとおり総合相談件数は増加しており、自治会等地域の組織と積極的に協働し、高齢者を支援するネットワークを広げているセンターも増えています。</p> <p>今後は、基幹型センターを除く残りの直営型5センターについても、順次委託型センターに置き換えていく予定としており、平成29年度中に本庁内に設置している南吹田、総合福祉会館内に設置している片山の2センターについて委託型センターの開設に向けて選定を行います。</p>					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	委託型地域包括支援センター事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00412				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00412
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域包括の運営方針を市が明確に示し、技術的・人的支援を行う中で、委託型包括も確実に力をつけ、市の支援の質・量共に変化してきています。本事業の最終形について、議論を進める必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度から介護保険法の一部が改正され、要支援者の介護予防給付が大きく変更され、新たな総合事業の内容を市で検討することや、地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療・医療連携や認知症施策の推進、地域支援事業充実のための地域包括支援センターの機能強化が緊急課題となりました。

事務事業評価調書

事務事業名	地域ケア会議開催事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正内容	地域ケア会議の構成員に吹田市自治会連合会を新たに追加した。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市地域ケア会設置要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	要援護者等(援助を必要とする高齢者及びその家族)											
	結果(どのような効果が得られるのか)	保健・医療・福祉サービスの総合調整及び広範なネットワークの形成により、地域での生活の継続を支える。 要援護者等に保健・医療・福祉サービスを総合的に提供するとともに、援助に関わる機関のネットワークを推進し、福祉の向上を図る。												
(7) 事業概要	市内6カ所で行うブロック別会議(定例会・随時会)、調整会議、報告会の3つの会議で構成され、事務局は直営の地域包括支援センターが担っています。ブロック別定例会では、事例検討を中心に行ったり、ブロック別随時会で高齢者虐待事例等の支援困難事例を多職種の参加で検討し、役割分担や支援方針を検討するなどして、介護支援専門員への支援を行うとともに、要援護者などへの地域でのサポート体制の形成を促進します。また、そこで明らかにされた地域の課題について、各会議を通じてその解決を図ります。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	3
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		443	360	481	352	481							
	人件費	職員数	人	0.30	0.20	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,568	1,630	2,701	2,701	2,651						
	総事業費(A+B)		3,011	1,990	3,182	3,053	3,132							
	特定財源(C)		2,416	1,919	2,563	2,457	2,522							
	(内訳)	国	1,189	759	1,241	1,191	1,222							
		府	595	379	619	596	610							
		その他	632	781	703	670	690							
	市負担(D)		595	71	619	596	610							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	71	0	0	0							
一般財源		595	0	619	596	610								
財源計(C+D)		3,011	1,990	3,182	3,053	3,132								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域ケア会議開催回数	目標値	(単位:回)	40.00	40.00	/
			実績値	(単位:回)	40.00	37.00	
		達成度(%)		100.0	92.5		
	目標値の積算方法 地域ケア会議開催回数第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	49.75	82.51		
			一般財源(単位:千円)	7.83	16.11		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 事例検討件数	目標値	(単位:件)	25.00	30.00	/
			実績値	(単位:件)	28.00	26.00	
		達成度(%)		112.0	86.7		
	目標値の積算方法 事例検討件数第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	71.07	117.42		
			一般財源(単位:千円)	11.18	22.92		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		高齢者が住み慣れた地域において健康で安心して暮らせるよう、介護・保健・医療・福祉サービスの総合調整及び地域におけるネットワークの形成を進め、高齢者虐待防止に向けた総合的な推進体制の構築に取り組んでおります。個別課題の解決や地域課題の発見といった地域ケア会議の機能を果たすため、報告会・調整会議・ブロック別ケア会議を開催しております。今後、高齢者が増加し、高齢者のニーズや相談内容が多様化するため、本事業の必要性はより高まるものと考えられます。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地域ケア会議開催事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00413				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00413
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>会議では、在宅生活を送る認知症の方への支援、孤立する独居高齢者、夫婦ともに課題を有する世帯への支援等、様々な事例について検討を行いました。困難事例の解決に向けては、普段から地域との関わりや専門職との連携を持つことが重要であり、また、お互いがそれぞれの機能や役割を理解しながら、高齢者や家族が安心して生活を送れるよう日々連携に努めていく必要があります。そして、地域おける多くの課題について、地域で活動している人が定期的に集まって忌憚なく意見を交換し合い、解決の糸口を見出せる場として、今後も地域ケア会議の役割がますます重要になってきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

介護保険法の改正において、市町村が「地域ケア会議」を設置し、高齢者への適切な支援及び支援体制に関する検討を行うことが規定されています。

事務事業評価調書

事務事業名	介護用品支給事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正内容	家族を対象者とする給付制度であるが、介護度4, 5であっても親族の支援なく在宅生活を送っており、申請できる親族のいないことについてやむを得ない事情がある場合については高齢者本人を対象者とする。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市家族介護用品給付事業実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	要介護4又は5のおむつを使用している高齢者を在宅で介護している家族の方で、高齢者と介護している家族の世帯がともに市民税非課税世帯に属している場合												
		目標(どういう状態にしたいのか)	高齢者を介護する家族の経済的負担を軽減する。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	高齢者の生活の質を高め、家族の介護負担を軽減することを通して、在宅生活の継続及び福祉の増進を図る。													
(7)	事業概要	紙おむつ又は尿とりパット代として1ヶ月あたり限度額6,250円(年額75,000円)分の給付券を毎月1枚発行し、登録されている薬局や介護用品店において引き換えていただくものです。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,757	6,263	6,757	5,989	6,619							
		人件費	職員数	人	0.80	0.40	0.80	0.80							
			総額(B)	千円	6,847	3,260	7,203	7,203							
		総事業費(A+B)		13,604	9,523	13,960	13,192		7,503						
		特定財源(C)		10,918	8,286	11,239	10,620		6,212						
		(内訳)	国		5,374	3,412	5,444	5,144		2,926					
			府		2,686	1,706	2,721	2,572		1,463					
			その他		2,858	3,168	3,074	2,904		1,823					
		市負担(D)		2,686	1,237	2,721	2,572		1,291						
		(内訳)	地方債		0	0	0	0		0					
その他			0	1,237	0	0		1,291							
一般財源			2,686	0	2,721	2,572		0							
財源計(C+D)		13,604	9,523	13,960	13,192		7,503								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付券発行枚数	目標値	(単位:枚)	1,081.00	1,081.00	1,059.00
			実績値	(単位:枚)	1,098.00	1,081.00		
			達成度(%)		101.6	100.0		
		目標値の積算方法	予算積算基礎	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8.67	12.20
	一般財源(単位:千円)					0.00	2.38	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		予算積算基礎	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	給付券換金枚数	目標値	(単位:枚)	1,081.00	1,081.00	1,059.00
			実績値	(単位:枚)	1,002.00	1,083.00		
			達成度(%)		92.7	100.2		
		目標値の積算方法	予算積算基礎	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9.50	12.18
	一般財源(単位:千円)					1.57	2.37	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		予算積算基礎	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		この事業の支給対象は、おむつ等の購入代金であり、家族にとって介護に伴う経済的負担の軽減につながるもので、在宅介護を支援する施策として事業の効果は高いと考えます。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護用品支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	00414				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00414
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>対象者が使用するおむつの全数をカバーしている訳ではありませんが、「助かる」という声が寄せられています。支援を必要とする対象者の実数を把握することは困難ですが、在宅で介護をされている家族に対する支援策として、今後とも、引き続き周知に努める必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者・介護家族電話相談事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内に住むおおむね65歳以上の高齢者または介護保険第2号被保険者のうち、要支援・要介護認定を受けた者、及びその介護家族等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者人口の増加に伴う高齢者をめぐる課題に対し、きめ細やかな相談体制を構築する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	24時間の相談窓口の設置により、いつでも安心して暮らしていける。													
(7)	事業概要	市内に住むおおむね65歳以上の高齢者または介護保険第2号被保険者のうち、要支援・要介護認定を受けた方やその家族からの健康・介護等に関する相談に専門の相談員が応えるもので、平日の午後5時30分から翌日の午前9時までと、土日祝日の24時間、フリーダイヤルによる電話相談を受け付けています。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5,994	5,994	5,994	5,996	5,994							
		人件費	職員数	人	0.80	0.40	0.80	0.80	0.10						
			総額(B)	千円	6,847	3,260	7,203	7,203	884						
		総事業費(A+B)		12,841	9,254	13,197	13,199	6,878							
		特定財源(C)		10,305	8,070	10,624	10,625	5,709							
		(内訳)	国	5,072	3,320	5,146	5,148	2,682							
			府	2,536	1,660	2,573	2,574	1,341							
			その他	2,697	3,090	2,905	2,903	1,686							
		市負担(D)		2,536	1,184	2,573	2,574	1,169							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	1,184	0	0	1,169							
一般財源	2,536		0	2,573	2,574	0									
財源計(C+D)		12,841	9,254	13,197	13,199	6,878									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	ALSOKあんしんケアサポート株式会社										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				夜間、休日等における高齢者等からの相談							
①															
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 電話相談件数	目標値	(単位:件)	572.00	572.00	572.00
			実績値	(単位:件)	225.00	240.00	
		達成度(%)		39.3	42.0		
	目標値の積算方法 地域包括支援センター6か所の総合相談件数の1割とする。平成23年度の総合相談件数5,723件×0.1=572件	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	41.13	55.00		
			一般財源(単位:千円)	6.79	10.73		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	電話相談は業務時間外の相談窓口であり、平日の昼間に行政へ相談できない方の受け皿となる役割は大きいと思われまますので、本事業の周知を更に進めることが成果につながると考えます。			達成状況	市報、ホームページでのPRの他に、26年度はすべての自治会へPRチラシの回覧をしました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		高齢者が増加し、その家族を含めた様々な相談ニーズが高まっている中で、夜間や休日等の体制の整備は重要であり、今後とも事業を継続する必要があります。 相談後、フォローが必要な場合等、委託事業者と迅速に連携することで、この事業を有効性を高めていくことが必要です。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者・介護家族電話相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00415				

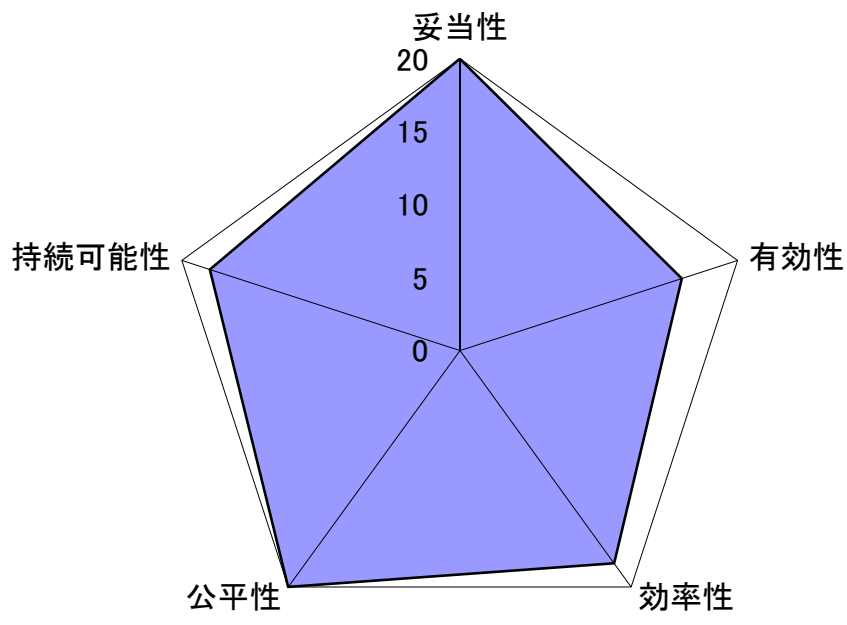
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00415
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>必要な対象者に広く利用を促すために、より積極的な周知に努める必要があります。加えて、委託先事業所と市や地域包括支援センターの連携の流れについて、個別事案の情報共有や対応方法について検討が必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	成年後見制度利用支援事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	成年後見人等が法人の場合も、助成金交付の対象となる。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法、吹田市成年後見制度利用助成金交付要綱、吹田市成年後見審判申立支援事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	精神上の障害により判断能力が十分でない者で、申し立てる親族がいない、低所得である等の理由により成年後見制度の利用が困難な者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	判断能力が十分でない認知症高齢者等が成年後見制度を活用することにより、適切に身上監護や財産管理を受けることができる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成年後見制度による支援を受けることにより、自立した生活を送ることができる。													
(7)	事業概要	精神上の障がいによって判断能力が十分でなく本人による申し立てが困難な認知症高齢者等であって、配偶者若しくは2親等以内の親族がいない方、又は親族がいても音信不通の状況等にある方について、市が成年後見の審判の申立てを行います。また、認知症高齢者等、又は認知症高齢者等と同居している4親等以内の親族であって、かつ低所得者で弁護士、司法書士、社会福祉士等が成年後見人等として付された場合に、申立費用や後見人等の報酬助成を実施し、これらの者が成年後見制度による保護を受けることにより、財産・権利が守られるよう支援するものです。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	4	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,034	1,978	3,700	2,027	4,582							
		人件費	職員数	人	0.60	0.40	0.50	0.50	0.10						
			総額(B)	千円	5,135	3,260	4,502	4,502	884						
		総事業費(A+B)		7,169	5,238	8,202	6,529	5,466							
		特定財源(C)		5,753	4,847	6,603	5,256	4,573							
		(内訳)	国		2,831	1,947	3,198	2,546	2,132						
			府		1,416	974	1,599	1,273	1,065						
			その他		1,506	1,926	1,806	1,437	1,376						
		市負担(D)		1,416	391	1,599	1,273	893							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	391	0	0	893						
一般財源			1,416	0	1,599	1,273	0								
財源計(C+D)		7,169	5,238	8,202	6,529	5,466									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 市長申立実施件数と本人申立件数の合計	目標値	(単位:件)	8.00	10.00	9.00	
			実績値	(単位:件)	7.00	12.00		
			達成度(%)		87.5	120.0		
	目標値の積算方法	予算の積算基礎人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		748.43	544.08	
				一般財源(単位:千円)		120.14	106.08	
	②	指標内容 後見人等への報酬助成件数合計	目標値	(単位:件)	6.00	13.00	16.00	
			実績値	(単位:件)	9.00	10.00		
			達成度(%)		150.0	76.9		
目標値の積算方法		予算の積算基礎人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		582.11	652.90	
				一般財源(単位:千円)		93.44	127.30	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難 などで 場合 示 合 ず	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	申し立てが困難な認知症高齢者等に対して、成年後見人制度の活用により自立した生活が送れるようにする事業であり、適切な支援が図られるよう制度の周知、PRを進めていく必要があります。			達成状況	市報や出前講座による周知、制度内容や相談機関をわかりやすく示したチラシを作成し、地域包括支援センターにて配布しています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		成年後見制度申立に係る鑑定費用・登記費用等は、申立時に必要な経費であり、後見人の費用についても、家庭裁判所が本人の所得に基づいて決定するため、削ることのできない経費です。この事業は、認知症等、判断能力が十分でない高齢者の権利を守るために必要と考えています。本事業は、介護保険法改正に基づく認知症施策の取り組みの充実にも当たる重要な事業の一つです。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	成年後見制度利用支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00416				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00416
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

成年後見人等が法人の場合も助成対象となるよう、平成27年4月1日付で要綱改正を行いました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年度より対象者の拡大を実施するために要綱改正を行っていますが、被成年後見人等が知的もしくは精神障がい者への助成内容と認知症高齢者への助成内容に差異のある制度となっており、その是正を平成28年度に行う予定です。</p> <p>今後は、認知症高齢者等の増加に伴って、後見人等の報酬助成額が増大するものと予想されます。現在は、介護保険特別会計の地域支援事業として財源が確保されている状況で事業を行っていますが、地域支援事業は上限額が決まっているため、他事業との兼ね合いで財源の確保について、見通しを持って検討していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	認知症サポーター養成事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	13							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民、市内の企業・団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	認知症になっても尊厳をもって最後まで自分らしく暮らすためには、周囲の理解と気づきが必要であり、認知症サポーターを養成する必要がある。平成27年度の目標数は14,500人。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	認知症に対する市民の認識が深まり、認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちづくりをすすめることができる。													
(7)	事業概要	地域における認知症の正しい理解の啓発をすすめ、認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター並びにサポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトを養成する。 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)による平成29年度までの目標数の増加(800万人)に伴い、本市も目標数の増加(21,700人)を行う。また、認知症地域サポート事業の実施、吹田警察署・吹田消防本部との協力の強化からも拡充が必要である。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	5	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		168	168	168	218	296							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	856	815	901	901	884						
		総事業費(A+B)		1,024	983	1,069	1,119	1,180							
		特定財源(C)		822	950	861	901	1,122							
		(内訳)	国		405	375	416	436	460						
			府		202	188	208	218	230						
			その他		215	387	237	247	432						
		市負担(D)		202	33	208	218	58							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	33	0	0	0						
一般財源			202	0	208	218	58								
財源計(C+D)		1,024	983	1,069	1,119	1,180									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域住民や民生関係団体をはじめ、学校、高齢者の見守り登録事業者などを対象とした認知症サポーター養成講座の開催数	目標値	(単位:回)	69.00	100.00	/
			実績値	(単位:回)	100.00	89.00	
			達成度(%)		144.9	89.0	
	目標値の積算方法 最も多かった年間の開催実績 (平成26年度の100回)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.83	12.57		
			一般財源(単位:千円)	1.54	2.45		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 認知症を正しく理解し、認知症の人と家族を見守る認知症サポーター、キャラバンメイトの養成数	目標値	(単位:人)	2,100.00	3,600.00
	実績値			(単位:人)	3,671.00	3,421.00	
	達成度(%)			174.8	95.0		
	目標値の積算方法 人口の約6%である21,700人の認知症サポーターとキャラバン・メイトを29年度末までに養成する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.27	0.33		
			一般財源(単位:千円)	0.04	0.06		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		<p>認知症になっても、安心して暮らせるまち吹田の実現のため、その基本となる認知症への理解を広げる啓発事業であり、民間事業所に所属するキャラバン・メイトとともに、認知症サポーターの養成を継続していく必要があります。</p> <p>介護保険法改正において、認知症施策の充実が求められており、国が示す「認知症施策推進総合戦略」において、平成29年度までに人口の6%を目標としていることから、本市においても人口の6%(21,700人)の養成を目標とし取り組んでいます。養成したサポーターが、地域で認知症高齢者を支える具体的な担い手として活動できるように支援を強化することも、地域包括ケアシステムの構築の一環として必要があると考えています。</p>					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	認知症サポーター養成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00417				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00417
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、地域包括支援センターが事務局となり、認知症対策の一環として取り組んでおり、市内6ブロックの学校や市民等、対象者別に計画的な事業を実施しています。 実際の養成講座では、地域包括支援センターの職員その他、社会福祉協議会のCSWや、介護保険事業者にも講師を担当していただいています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年1月27日に発表された「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」では、認知症サポーターの平成29年度末の養成目標を600万人から800万人に引き上げるとともに、認知症サポーターの活動の支援にも重点を置くとされています。
 平成27年4月の介護保険法改正において、一連の認知症施策を地域支援事業の包括的支援事業に位置付け、地域包括ケアシステム構築の一つの手法として取り組みを進めることが求められています。

事務事業評価調書

事務事業名	徘徊高齢者SOSネットワーク事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	介護保険法、吹田市高齢者見守り体制づくり実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	13							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	認知症高齢者とその家族											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	徘徊高齢者等の迅速な安全確保とその家族の精神的負担の軽減を図る。												
(7) 事業概要	認知症高齢者が、行方不明になった場合、対象者の特徴等を記載した情報を、SOSネットワーク登録機関へ一斉にFAX送信し、徘徊高齢者等の早期発見を図る事業です。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	7	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		116	128	205	96	245							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	856	815	901	901	884						
	総事業費(A+B)		972	943	1,106	997	1,129							
	特定財源(C)		780	917	891	803	1,081							
	(内訳)	国		384	361	431	388	441						
		府		192	181	215	194	220						
		その他		204	375	245	221	420						
	市負担(D)		192	26	215	194	48							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	25	0	0	48						
一般財源		192	1	215	194	0								
財源計(C+D)		972	943	1,106	997	1,129								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 事業登録者数	目標値	(単位:人)	45.00	80.00	/
			実績値	(単位:人)	68.00	121.00	
			達成度(%)		151.1	151.3	
	目標値の積算方法 徘徊高齢者家族支援サービス事業の利用者数(平成25年度末登録者数29人)をもとに積算。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	13.87	8.24		
			一般財源(単位:千円)	2.16	1.60		
	②	指標内容 協力事業者の登録数	目標値	(単位:事業者)	330.00	380.00	
実績値			(単位:事業者)	355.00	449.00		
達成度(%)			107.6	118.2			
目標値の積算方法 第5期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標値の団体数をもとに、1団体あたり10事業者として積算。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.66	2.22			
		一般財源(単位:千円)	0.41	0.43			
(2) 成果指標	①	指標内容 事業登録者のうち、行方不明になった場合に発見された人数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:人)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 事業登録者の増加に伴い、行方不明になる回数も増加して積算。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		この事業を継続するとともに、認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるようにするため、地域ネットワークの構築に向けた取組を進めていく必要があります。具体的に地域での見守り、位置検索システムGPSの所持、衣類等への氏名の記入などの啓発も進めています。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	徘徊高齢者SOSネットワーク事業	事業区分	その他
事務事業番号	00418				

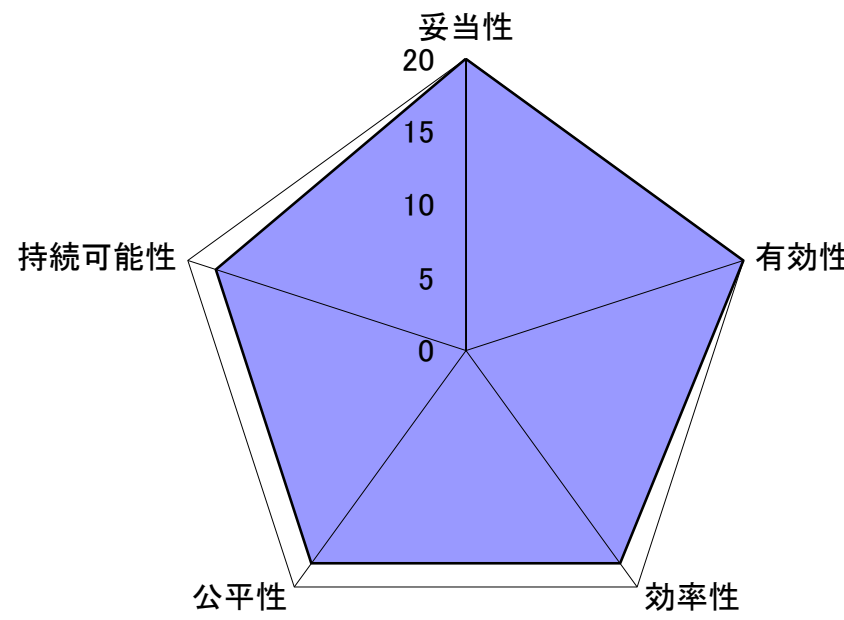
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00418
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>大阪府地域支えあい体制づくり事業補助金を活用し、平成23年度末から事業を開始しました。現在、事業登録者121名、協力事業者は355事業所に増えていますが、今後も事業登録者や協力事業者への積極的な周知に努めながら、地域住民に対して認知症の方を見守る事業の啓発を進めていく必要があります。他府県及び府内の各市町村より、徘徊高齢者SOSネットワークの利用の依頼がありますが、現状では、吹田市内の方のみFAX送信を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	実施施設を養護老人ホームとする。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律、吹田市実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他	高齢者虐待等の事由により、一時的に居宅での生活が困難となった者で、要介護認定が非該当となった者、もしくは要介護認定を受けていない者。								
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	高齢者虐待等の事由により居宅での生活が一時的に困難となった高齢者が、養護老人ホームへの避難と、その後の支援を受けることで、安心安全な生活を確保することができる。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者が、安心安全な生活を確保することができる。												
(7) 事業概要	介護保険の要介護認定で非該当となった者、又は要介護認定を受けていない者が、高齢者虐待等の事由により居宅での生活が困難となった場合に、養護老人ホームを一時的に利用して、安心安全な生活を確保します。 利用者負担はなし。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	9	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		298	0	298	94	302							
	人件費	職員数	0.05	0.00	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	415	0	836	836	817							
	総事業費(A+B)		713	0	1,134	930	1,119							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		713	0	1,134	930	1,119						
		地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	一般財源		713	0	1,134	930	1,119							
財源計(C+D)		713	0	1,134	930	1,119								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	養護老人ホーム										
			②											
	主な委託内容		緊急一時的な短期利用											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業は、老人福祉法上の措置で救済できない介護認定非該当の方等を対象とした市のサービスです。			目標	最終手段であるシェルターとしての役割を持つ事業でありますので、目標値は0件となります。	
	②	成果内容	平成27年度は、実施施設を養護老人ホームとしたことで、既存の福祉施策と合わせ、高齢者の状態に合わせた切れ目ない支援策を構築した。			達成状況	平成27年度の利用者は1名おり、利用日数は18日間でした。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		虐待等を受けている高齢者で、老人福祉法上の措置で救済できない介護保険の要介護認定非該当の方等に対して、市が短期に居宅からの避難の対応を行う事業であり、今後も継続して取り組んでいく必要があります。 平成27年度に、関連制度である老人福祉法に基づくやむを得ない事由による措置や養護老人ホームの入所措置と、本事業の適用範囲を明らかにし、虐待のために居宅から保護する高齢者の多様な状況に切れ目なく対応できるように、実施施設を養護老人ホームとする要領改正を行いました。それにより、高齢者虐待対応における市の責務を、より重層的に果たすことが可能となっています。				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業	事業区分	その他
事務事業番号	00419				

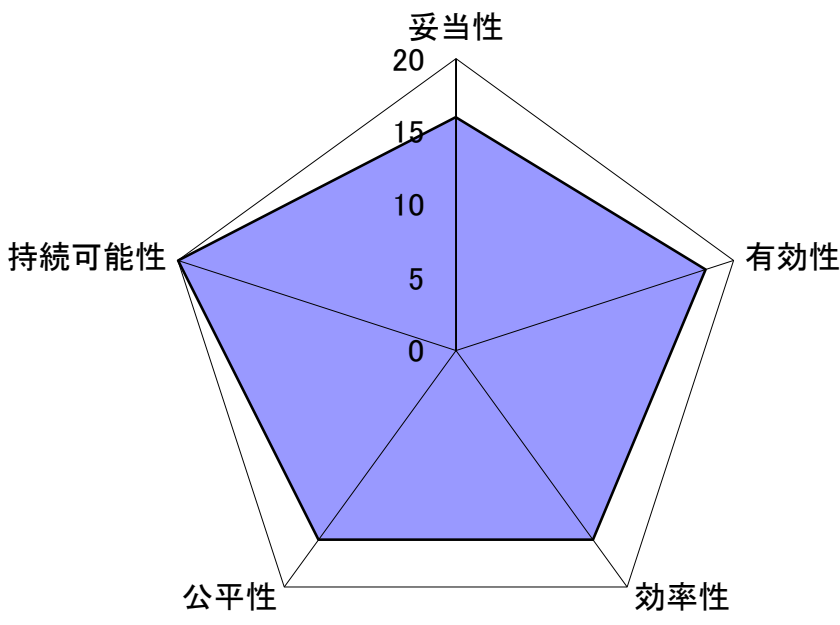
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00419
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者虐待対応短期入所生活介護事業については、老人福祉法上の措置で救済できない介護認定非該当の方等を対象にした市のサービスです。平成26年4月1付で、吹田市老人福祉法施行細則を改正し、(在宅サービスについて、措置として救済できる部分を吹田市老人福祉法施行細則の中に組み込む。)特別養護老人ホームにおけるやむを得ない措置でのショートステイの活用が可能となりました。この改正を踏まえ、平成27年4月1日より実施施設を特別養護老人ホームから養護老人ホームとするなど、本事業の対象者である介護保険非該当者がより利用しやすくなるよう、要領改正を行いました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	街かどデイハウス事業補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成11年度	改正 内容	介護予防事業の規定											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	大阪府地域福祉・子育て支援交付金交付要綱、吹田市街かどデイハウス事業補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	民間非営利団体、特定非営利活動法人等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	街かどデイハウスを運営している民間非営利団体、特定非営利活動法人等に補助金を交付することによって、おおむね65歳以上の高齢者に対し、介護予防や生活支援等を行う。												
(7) 事業概要	介護予防又は生活支援等を必要とする高齢者を対象に、柔軟できめ細やかな介護予防サービス等を提供する民間の非営利団体等に対して、運営費等について補助金を交付するものです。 (介護予防事業費補助は、別事業(介護保険特別会計)) 利用者は、時間等に応じた利用料を自己負担。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	10	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		42,158	32,769	37,220	32,235	37,220							
	人件費	職員数	人	0.80	0.70	0.80	0.80							
		総額(B)	千円	6,640	5,563	6,682	6,682							
	総事業費(A+B)		48,798	38,332	43,902	38,917	41,305							
	特定財源(C)		14,786	14,817	14,793	15,303	14,817							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	14,786	14,817	14,793	15,303	14,817							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		34,012	23,515	29,109	23,614	26,488							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		34,012	23,515	29,109	23,614	26,488								
財源計(C+D)		48,798	38,332	43,902	38,917	41,305								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	特定非営利活動法人 虹 他7団体										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	街かどデイハウス運営施設数	目標値	(単位:か所)	9.00	9.00	9.00
			実績値	(単位:か所)	8.00	8.00	/	
		達成度(%)		88.9	88.9			
	目標値の積算方法	予算積算数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,791.50	4,864.63		
				一般財源(単位:千円)	2,939.38	2,951.75		
	(2) 成果指標	②	指標内容	延利用者数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00
実績値				(単位:人)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		計画値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	延利用者数	目標値	(単位:人)	16,000.00	16,000.00
	実績値			(単位:人)	15,565.00	15,701.00	/	
	達成度(%)		97.3	98.1				
	目標値の積算方法	計画値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.46	2.48		
				一般財源(単位:千円)	1.51	1.50		
	(4) 総合評価	②	指標内容	延利用者数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00
実績値				(単位:人)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		計画値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	急速な高齢化の進展に伴う介護保険事業への負担抑制の為、介護予防事業の充実が重要であり、介護予防や生活支援等を必要とする高齢者に対して、介護予防サービス等を提供し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を続けられるよう支援しています。また、介護予防活動等を通じて、高齢者の閉じこもりや社会的孤立の防止等に役立っており、継続して事業を行っていく必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	街かどデイハウス事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00420				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00420
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>街かどデイハウス事業の実施団体は、介護予防や日常生活上の支援が必要な人を支援するため、地域住民の自発的な取組からスタートし、地域住民が主体となって施設を運営しており、その運営費等の補助を行っています。しかしながら、実施団体のスタッフの高齢化が進んでおり、スタッフの不足等、体制的に厳しい団体があります。また、書類作成等の事務処理が難しい団体もあり、市がサポートをしている状況です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成21年度からの大阪府の補助金削減に対応するため、介護保険地域支援事業を活用し、介護予防事業への補助を設ける等の事業再編を行いました。平成23年度から、大阪府の補助金が交付金に変更され、地域福祉・子育て支援交付金に一本化されました。平成27年度からの介護保険制度の改正による、地域支援事業(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)の実施に伴い、本事業の位置付けやあり方について検討が必要です。また、財源構成や対象者の要件等についても検討する必要があります。

事務事業評価調書

事務事業名	高齢者家具転倒防止器具設置助成事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市高齢者・重度障害者世帯家具転倒防止器具設置助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	要支援・要介護認定者を含む低所得の高齢者世帯												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	家具転倒防止器具を取り付けることにより、地震による被害の軽減を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	災害時、要介護者の命を守ると同時に、住みなれた地域で安心して生活できる環境が整備できる。												
(7) 事業概要	タンス、食器棚等の家具に家具転倒防止器具を取り付けた際の取付費用を助成します。また、生活保護世帯については器具代も併せて助成するものです。助成限度額は取付費用、器具代とも5,000円です。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	11	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		50	5	30	5	25							
	人件費	職員数	人	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	415	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		465	800	866	841	842							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		465	800	866	841	842							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		465	800	866	841	842								
財源計(C+D)		465	800	866	841	842								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 助成対象人数	目標値	(単位:人)	8.00	5.00	4.00	
			実績値	(単位:人)	1.00	1.00		
			達成度(%)		12.5	20.0		
	目標値の積算方法	予算積算基礎より	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		800.00	841.00	
				一般財源(単位:千円)		800.00	841.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
				目標				
		家具転倒防止器具を自力で取り付けることができない災害時要援護者に設置助成を行って、被害軽減を図ることが事業の目的であり、対象者への周知を継続して行うことが大切であると考えます。		達成状況	市報やホームページでの周知は行っていますが、利用者は少ない状況です。出前講座等でのPRに努めたいと考えています。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		事業の周知に努めるとともに、事業内容の再検討が必要であると考えています。					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者家具転倒防止器具設置助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00421				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	10	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	68	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00421
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>防災意識の高まりにより、家具転倒防止器具の設置の必要性は感じている方は多いと思われませんが、利用実績は低迷しています。市報やホームページでの周知は行っていますが、出前講座等でのPRIにも努めたいと考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	養護老人ホーム入所措置事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和38年度	改正内容	吹田市老人福祉法施行細則の改正(措置基準の改正)											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	老人福祉法、吹田市老人福祉法施行細則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	おおむね65歳以上で、身体、精神、環境上及び経済的に在宅で生活することが困難な者												
	目標(どういう状態にしたいのか)	養護老人ホームに入所措置することにより、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定を図る。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	高齢者の生活の質を高め、福祉の増進を図る。												
(7) 事業概要	おおむね65歳以上の者で、身体上又は精神上もしくは環境上の理由及び経済的理由により在宅での生活が困難な者を養護老人ホームに入所措置し、健康で安心して生活できる場所を提供します。なお、入所に係る費用については、所得に応じた負担金を徴収します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	11	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		113,026	113,412	117,313	100,477	116,503							
	人件費	職員数	人	1.85	1.50	1.80	1.80	1.00						
		総額(B)	千円	15,355	11,921	15,034	15,034	8,170						
	総事業費(A+B)		128,381	125,333	132,347	115,511	124,673							
	特定財源(C)		25,294	26,737	25,611	23,662	26,942							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	25,294	26,737	25,611	23,662	26,942							
	市負担(D)		103,087	98,596	106,736	91,849	97,731							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	103,087	98,596	106,736	91,849	97,731							
財源計(C+D)		128,381	125,333	132,347	115,511	124,673								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	四天王寺悲田院養護老人ホーム 他14施設										
			②											
			③											
	主な委託内容		被措置者の養護											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	被措置者数(年度末時点)	目標値	(単位:人)	56.00	56.00	55.00
			実績値	(単位:人)	52.00	45.00		
		達成度(%)		92.9	80.4			
	目標値の積算方法	予算の積算基礎人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,410.25	2,566.91	
				一般財源(単位:千円)		1,896.08	2,041.09	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が 困難 などで 示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
①	活動内容		目標					
	②	成果内容	在宅生活が困難な高齢者を適切に措置するとともに、入所者の継続的な調査により必要性の検証も行いながら適正な事業執行に努めることが肝要です。	達成状況	毎年、入所者の状況調査を実施しており、状況の変化等により措置の必要がなくなった場合は、措置を廃止しています。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	本事業は老人福祉法に基づく措置であり、法定事務としての責務があり、当該高齢者を保護する上で必要な事業です。 事業の目的を達成するためには、対象者の適性についての判断や、入所後の状況把握を十分に行う必要があると考えています。						

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	養護老人ホーム入所措置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00422				

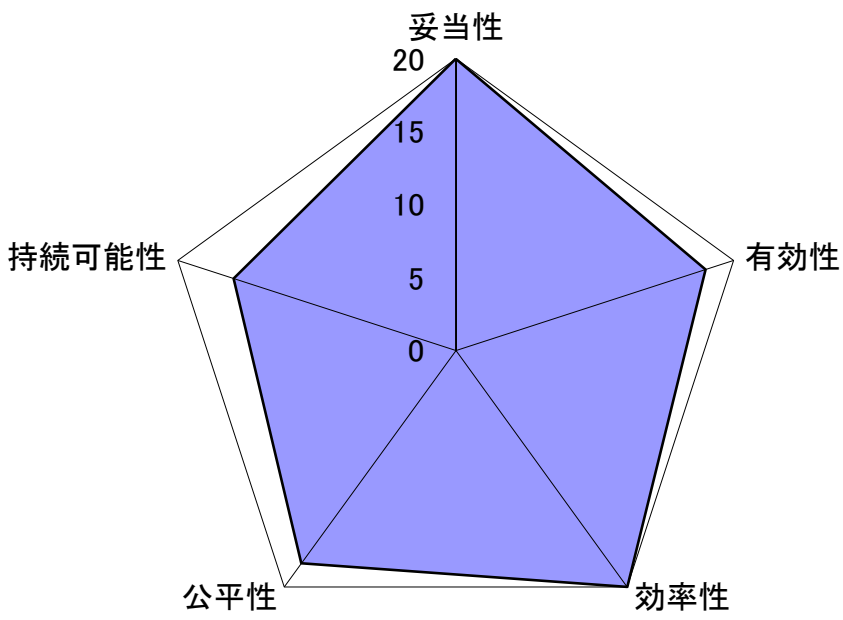
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00422
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>様々な理由により、居宅での生活が継続できない高齢者にとって、市が養護老人ホームに措置することで、心身の健康の保持、生活の安定が図られています。</p> <p>原則、死亡するまで措置を継続するため、経費が増大するものと見込まれますが、低所得であっても入居できるサービス付き高齢者住宅や有料老人ホームも増加しており、多様な選択の中で、措置の必要性については、検討委員の意見も参考にし適切に判断しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)